

浪江国際研究学園都市 タウンセンター西街区のまちづくり
浪江駅西側地区共創会議 総会

産学公民共創プラットフォーム形成に向けた、 共創主体の多様化と交流の加速化

～浪江国際研究学園都市構想の実現に向けた「学」の共創参画促進を例に～

2026年5月30日
浪江町地域スポーツセンターサブアリーナ

浪江町共創推進アドバイザー

廣 常 啓 一



浪江国際研究学園都市構想と F-REIをはじめとしたタウンセンター西街区のまちづくり

多様な主体との共創

浪江駅西側地区共創会議における多様な主体「ステイクホルダー」

これまでの共創会議とワーキングの活動の振り返り

共創主体の多様化と交流の加速化に向けて
産学公民共創への誘導と共創プラットフォームの価値向上

学と地域の共創、リビングラボ連携

個別共創ワーキングの事業化に向けたイメージ

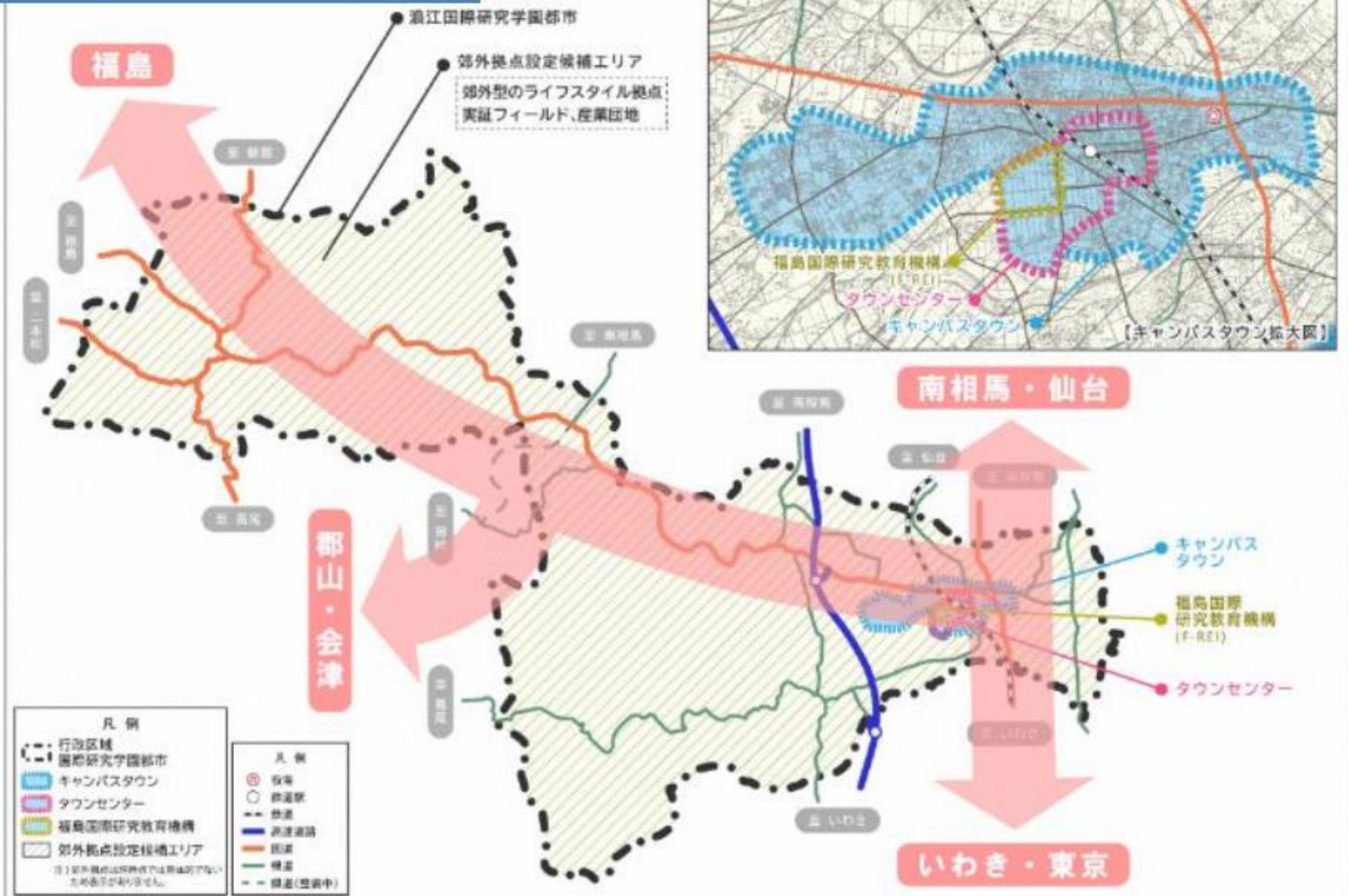
「学」と共創するまちづくりの事例

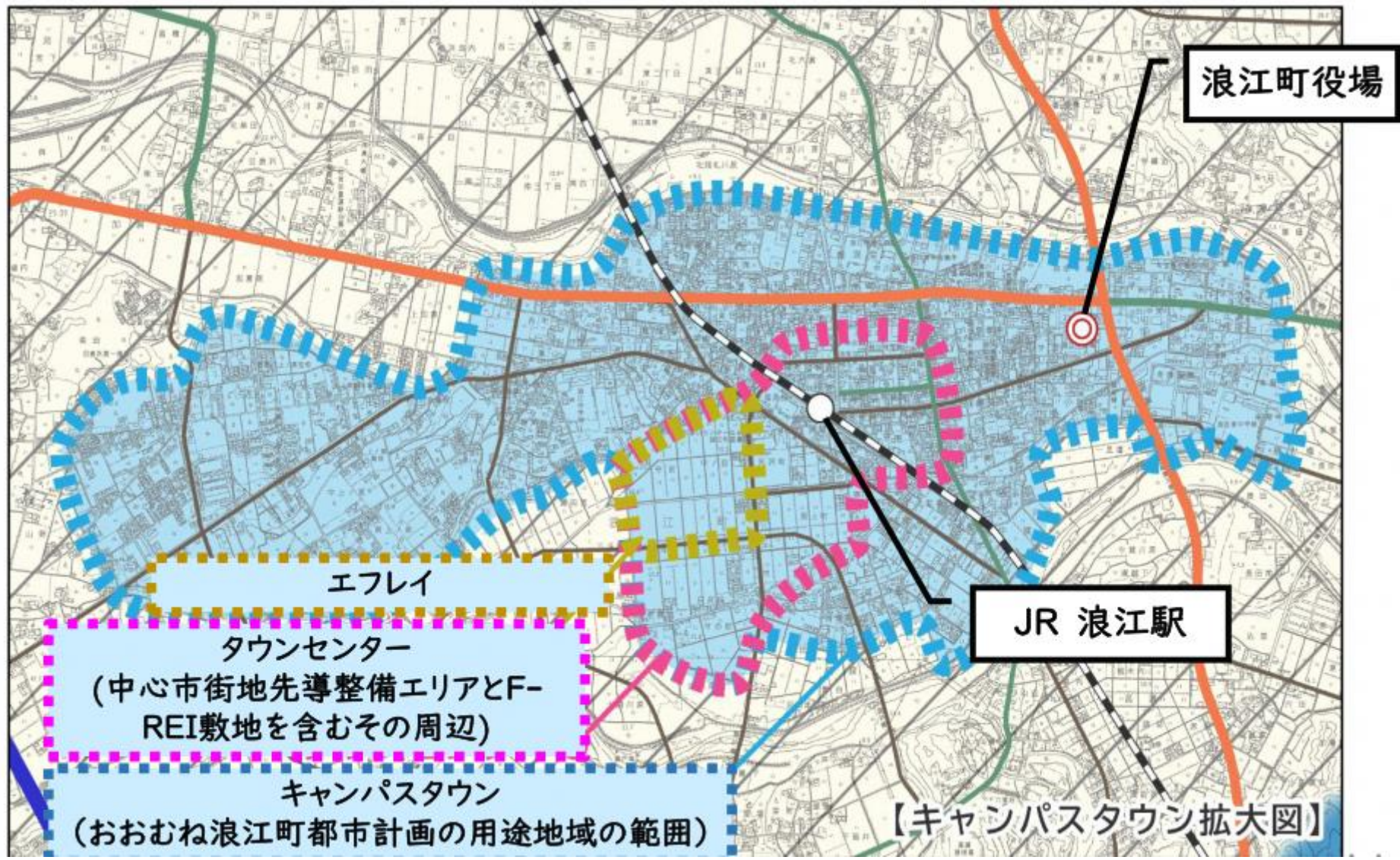
地域とF-REIをはじめとした 多様な主体が共生する持続可能なまちづくりの実現

F-REIをはじめとした多様な主体の研究成果が早期に発現すれば、浪江町の復興もより一層推進されるため、地域と多様な主体がともに支え合い、効率的、効果的に多様な主体が活動できる環境をつくることが重要です。

このため、浪江町は、F-REIの立地に対応した新たな都市像として「国際研究学園都市」を掲げ、浪江町と「浜通り・福島県(中通り、会津地域)」、「全国・世界」を繋ぎ、地域全体の産業創出、人材育成、人口増加に着実に結び付け、地域と多様な主体が共生する持続可能なまちづくりの実現を目指します。

浪江国際研究学園都市形成イメージ図





F-REIのホームページより引用



F-REI 5つの研究分野	
1	ロボット 福島災害を経験した福島で、廃炉や災害復旧等の過酷環境で機能を発揮するロボット・ドローンなどの研究開発
2	農林水産業 震災により大規模な休耕地や山林を有する地域特性を考慮し、新しい技術シーズの活用など、従来にはない次世代型水産業に挑戦
3	エネルギー 既存の水素関連施設等を活用し、カーボンニュートラルを地域で実現併せて先進的なスマートコミュニティの実現に寄与
4	放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用 福島の福島災害からの創造的復興の研究基盤として、放射線科学を福え、放射線や放射線同位体元素の活用等の検討を行う
5	原子力災害に関するデータや知見の集積・発信 福島の福島災害から得られる様々なデータを集積し、知見を伝承することで、今後の災害への対応に資するとともに、まちづくりに貢献

- 期待感を持っても迎えられる未来を創ることを見せたい
- 地元との一体感が重要
- 日本中から、世界から研究者を集めるが、地元から研究者、研究支援者を育てたい
- 皆が住みたくなくなる憧れの地にすることが最終目標

浪江国際研究学園都市構想と
F-REIをはじめとしたタウンセンター西街区のまちづくり

✓ 多様な主体との共創

浪江駅西側地区共創会議における多様な主体「ステイクホルダー」

これまでの共創会議とワーキングの活動の振り返り

共創主体の多様化と交流の加速化に向けて
産学公民共創への誘導と共創プラットフォームの価値向上

学と地域の共創、リビングラボ連携

個別共創ワーキングの事業化に向けたイメージ

「学」と共創するまちづくりの事例



① 関係性を産み出す



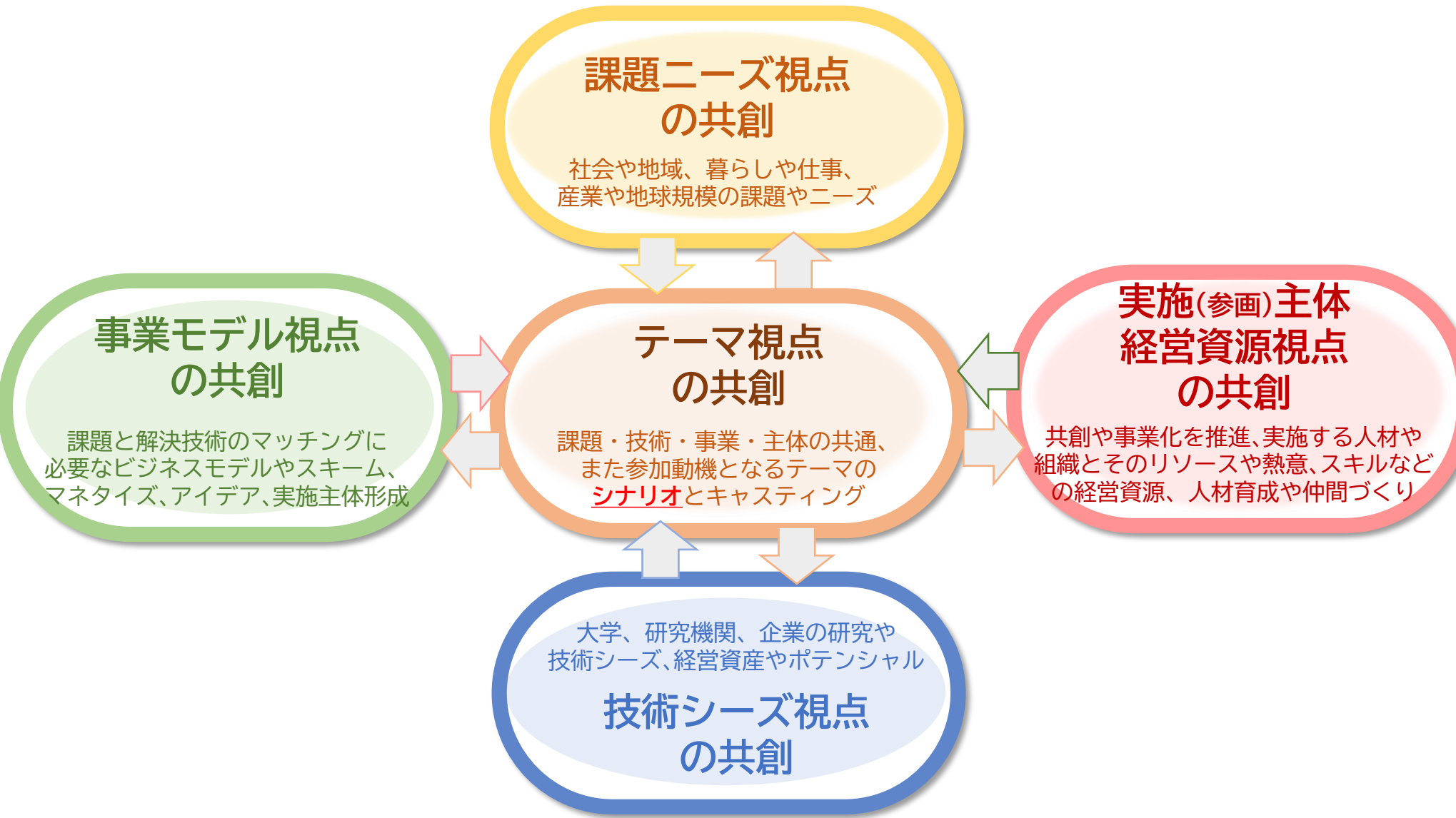
② 解決策を産み出す



③ 新しい意味を産み出す

共創推進のポイント・注意点の整理

- ・ 共創パートナーとのWinWinな関係が重要(参加者が楽しい、モチベーションが上がるなども)
- ・ 多様な立場や価値感を持つ主体が共感(わくわくする)する共通価値を創り合意形成できること
- ・ 参加者の主体意識の醸成(ゲスト意識からホスト意識への意識変容)が重要
- ・ 参加者の価値観や意見を尊重するフラットな関係を意識する
- ・ 参加者の負担やインセンティブを設計する
- ・ 参加者モチベーションの違いに応じた組合せを意識する
- ・ 合意形成と意思決定プロセスを透明にする
- ・ 目的と成果イメージを最初に共有する
- ・ 不足するリソース、ボトルネック対策などに新たなリソースを補充する(外部から誘致する)
- ・ 成果の活用や所有のルールを決める
- ・ 成果の可視化と発信による共感拡大
- ・ 成果を一度で終わらせず、継続枠組みに乗せる
- ・ 地域共創は「社会貢献」から「戦略的経営課題」へ進化している
- ・ 企業・行政・住民の三者が対等に協働することが成功の前提
- ・ 小さな成功体験の積み重ねと継続的な情報発信が推進力になる
- ・ 人材育成・新規事業・ブランド向上と事業成長を同時実現できる
- ・ 新たな共創主体は、課題解決や事業に関わるものから、今後の共創可能性予備軍
- ・ 予備軍の共創主体には、時期やテーマ、戦略や組織体制、条件の変化により動き出す
- ・ 予備軍の間の地域と対話交流、また情報収集研究や学習、研修、包括提携など多岐にわたる接点に於いて関係人口化(個人や組織)することも重要



浪江国際研究学園都市構想と
F-REIをはじめとしたタウンセンター西街区のまちづくり

多様な主体との共創

✓ 浪江駅西側地区共創会議における多様な主体「ステイクホルダー」

これまでの共創会議とワーキングの活動の振り返り

共創主体の多様化と交流の加速化に向けて
産学公民共創への誘導と共創プラットフォームの価値向上

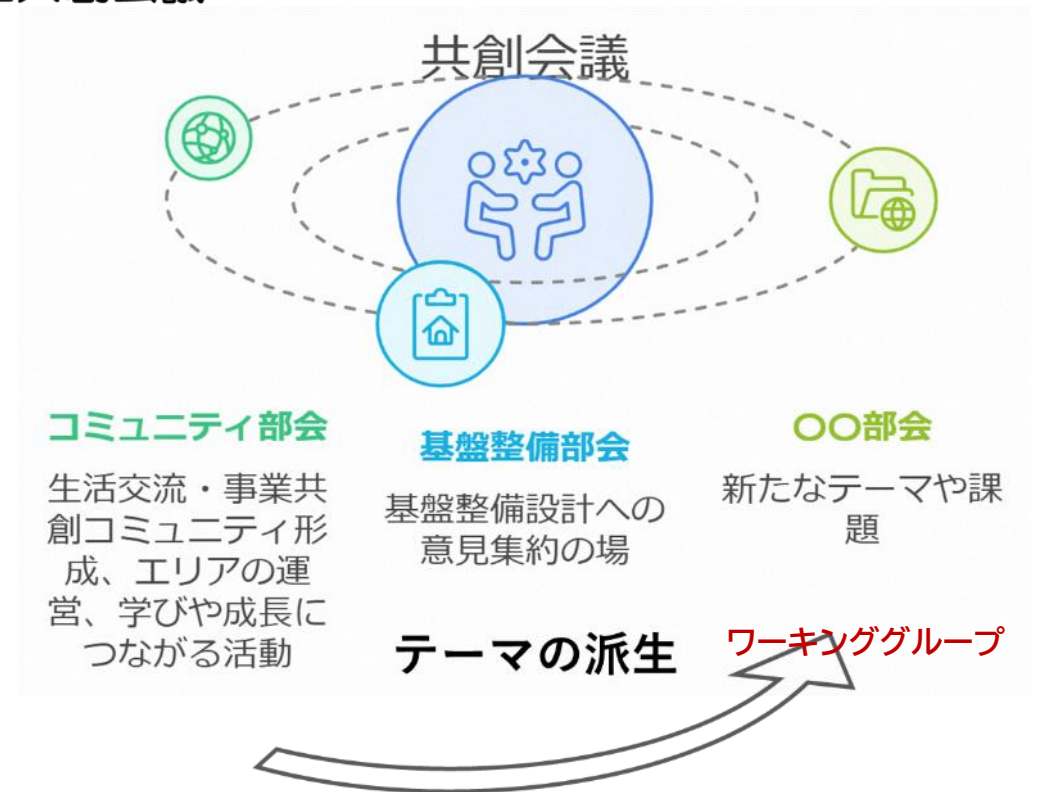
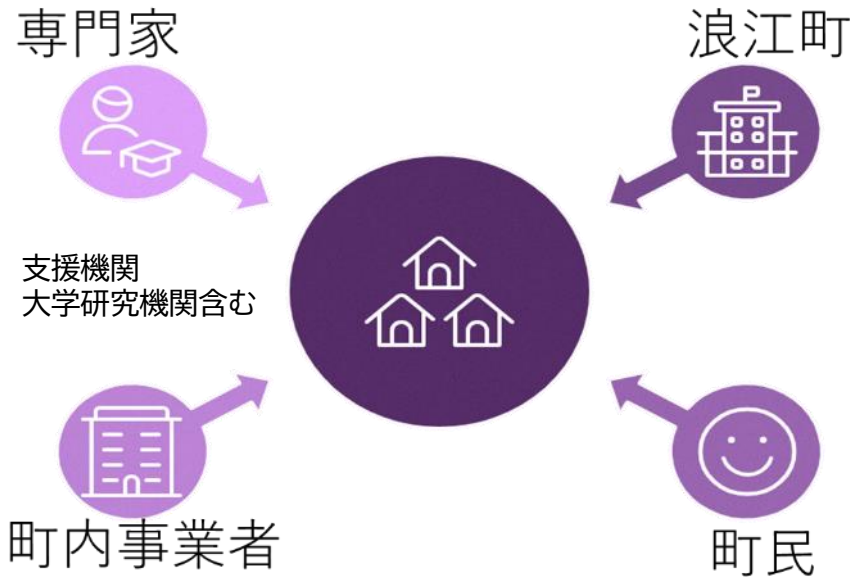
学と地域の共創、リビングラボ連携

個別共創ワーキングの事業化に向けたイメージ

「学」と共創するまちづくりの事例

事前のワークショップやセミナーからの共創会議キックオフセミナー
そして、課題やアイデアの発表、ワーキング活動など

浪江駅西側地区共創会議



浪江駅西側地区PPPにかかわる多様な主体(ステイクホルダー)の皆さん

地域の産業、周辺地域事業者、地権者

**進出するF-REIや協力大学等
その研究者や職員、従業員**

**進出期待企業や
不足する資源を持つ方**

駅西側地区で事業を考える方、テナント、商店等

**浪江町の課題解決
や再生・発展に熱い
想いを持つ方**

- (1)まちづくりと地域の課題やニーズ、経営者側
 - ・まちづくりの推進(まちづくり条例の制定)
 - ・まちづくりの推進(まちづくり条例の制定)
 - ・まちづくりの推進(まちづくり条例の制定)
- (2)まちづくりや事業に役立つ現実や課題やニーズ
 - ・まちづくりの推進(まちづくり条例の制定)
 - ・まちづくりの推進(まちづくり条例の制定)
 - ・まちづくりの推進(まちづくり条例の制定)
- (3)まちづくりと地域(駅西と周辺)との
関係のアイデア(事例)
 - ・まちづくりの推進(まちづくり条例の制定)
 - ・まちづくりの推進(まちづくり条例の制定)
 - ・まちづくりの推進(まちづくり条例の制定)
- (4)建設Cの要員の育成から経営者側
 - ・まちづくりの推進(まちづくり条例の制定)
 - ・まちづくりの推進(まちづくり条例の制定)
 - ・まちづくりの推進(まちづくり条例の制定)
- (5)地域創成(エリアマネジメント)事例
と効果的な
まちづくり
 - ・まちづくりの推進(まちづくり条例の制定)
 - ・まちづくりの推進(まちづくり条例の制定)
 - ・まちづくりの推進(まちづくり条例の制定)

民間デベロッパーや建設業の方



浪江町役場



帰還希望者

移住希望者

起業予定者

住民、移住者

エリマネ主体

来街者、訪問者、観光客

支援機関(公的機関、金融)

浪江駅西側地区PPPの課題(卵が先か鶏が先か議論)と共創の必要性



立地テナントが仕入れる地域材料や技術を提供する地域事業者の不安

- ・ 駅西側地区のまちづくりとの関係は
- ・ 地区事業者に継続的に供給が可能か、
- ・ 新たな地区事業者との取引は信頼できるか
- ・ 周辺地域の価値を上げるためには



駅西側地区で事業を考えるテナント、商店等の不安

- ・ テナント料や業態、集客経営等
- ・ どんな商品やサービスに関心を持ち安定的な顧客となってもらえるか
- ・ 店舗や施設で働くスタッフが確保できるか
- ・ マーケットリサーチが困難
- ・ 実施事業の原材料などの地域での安定供給
- ・ F-REIや提携する大学などの連携方法や協力内容は



進出期待企業や不足する資源を持つ方の不安

- ・ 浪江町の地域資源(原材料、研究等)、支援策の可視化と連携の可能性、事業性はあるか
- ・ 従業員の生活環境や来訪者の滞在の魅力は
- ・ 住民や地域事業者からの協力は得れるか
- ・ 駅周辺の開発とのかかわり方

進出するF-REIや協力大学等

- ・ 住民や地域産業との係わり方は
- ・ 産学連携、地域連携、社会人講座等マネタイズは
- ・ 地域課題解決できるか、大学課題解決できるか
- ・ 研究や技術、設備や機材の活用方法
- ・ 地域課題解決の研究や技術の地域実証の体制
- ・ 外国人含む研究者や職員が求めるものは
- ・ 地域での生活支援や交流はできるか
- ・ 浪江やF-REIに訪れる研究者や学術・産業視察のゲストの滞在支援は



民間デベロッパーや建設業の不安

- ・ テナントの有無、要求施設内容賃料の妥当性と継続性
- ・ F-REIや進出する企業との関わり
- ・ 事業採算性の不安
- ・ 関わる業務や技術、まちづくりの特徴
- ・ エリアマネジメント主体の実力



浪江町役場

- ・ 限りある町の財政や人財
- ・ 交付金や補助金など多様な財源の確保
- ・ 民間に貸出し開発するPPP
- ・ 開発や地域経営可能な底地造成
- ・ 地域ブランディングによる価値向上



帰還希望者、移住希望者の不安

- ・ 買い物や仕事の生活基盤があるか
- ・ 友達や仲間が出来るか
- ・ 駅西側にどのように関われるか

住民、移住者や来街者、訪問者は

- ・ 駅西側に行きたくなくなる魅力的な店や施設サービスが来るのか
- ・ 地域のイベントや楽しめる企画はあるのか
- ・ 子育てや、老後の生活に何があるか
- ・ 起業や地域活動に使えるのか
- ・ 周辺地域の施設や店舗、産業、住宅への影響は
- ・ 訪問、観光中に滞在する魅力的な機能はあるか

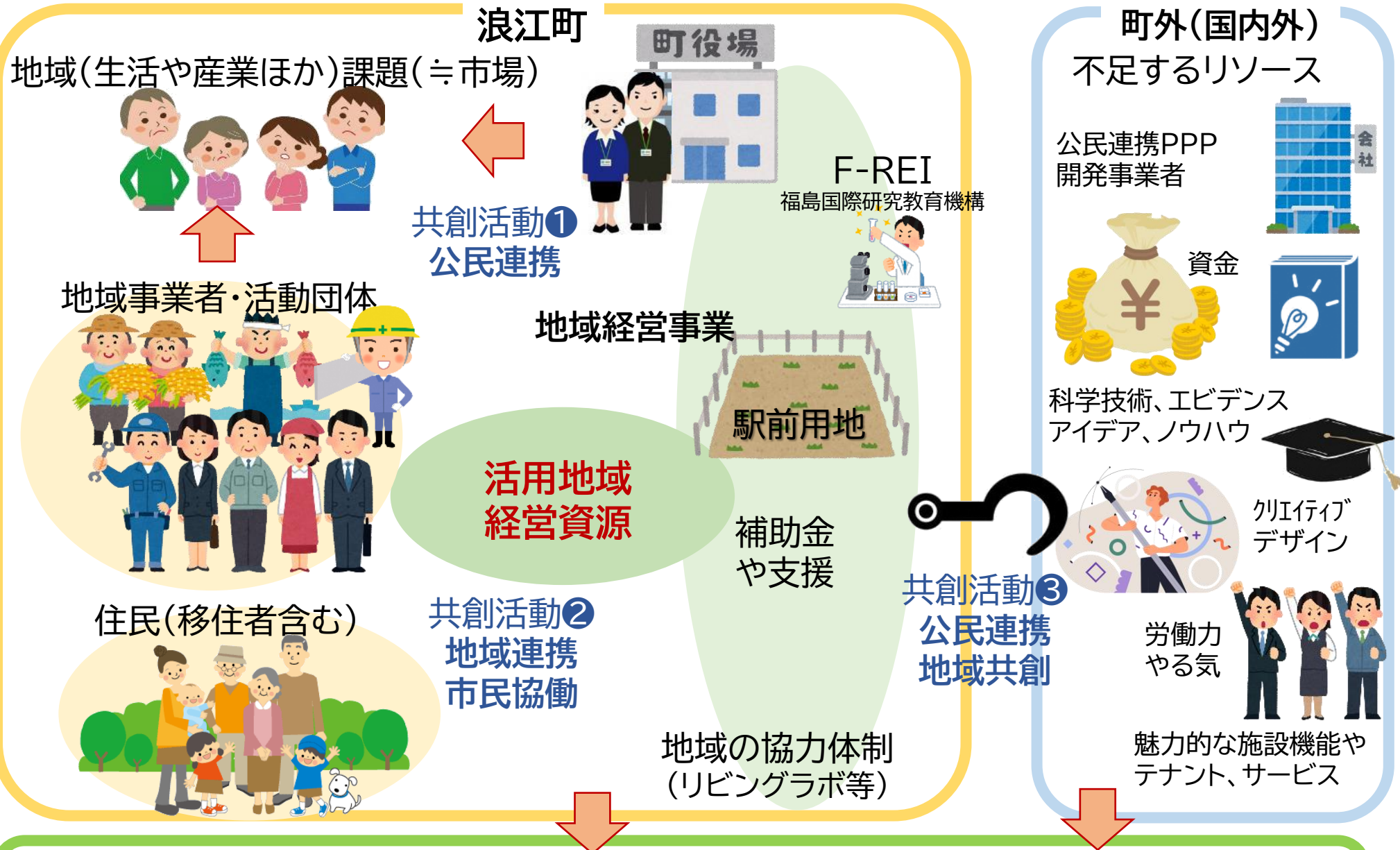
エリアマネ主体の不安

- ・ 持続的な集客や地域価値向上を高める企画は
- ・ 地域進出事業者と来街者のニーズは
- ・ 開発者から以外の収益は稼げるか

支援機関(公的機関、金融)の不安

- ・ 社会環境(地域課題)に応じた新たなビジネス開発とその技術やモデルは
- ・ 地域や事業者の課題や求めるものは
- ・ 貸し付けなどのリスクはあるか





「共創会議」 産学官民等の多様な主体が参加する共創プラットフォームと推進体制(関係機関・支援機関)

浪江国際研究学園都市構想と
F-REIをはじめとしたタウンセンター西街区のまちづくり

多様な主体との共創

浪江駅西側地区共創会議における多様な主体「ステイクホルダー」

✓ これまでの共創会議とワーキングの活動の振り返り

共創主体の多様化と交流の加速化に向けて
産学公民共創への誘導と共創プラットフォームの価値向上

学と地域の共創、リビングラボ連携

個別共創ワーキングの事業化に向けたイメージ

「学」と共創するまちづくりの事例



出典:浪江町の旅と学び情報ガイド「あいべえなみえ」より





福島水素エネルギー研究フィールド

写真出典:国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構



福島県複合材製造センター

写真出典:浪江町ホームページ



競走馬トレーニング施設

パース出典: Blooming Stables



F-REI

福島国際研究

写真出典:福島国際研究教育機構(F-REI)ホームページ



浪江
ビジネス共創
(コミュニティビジネス
～次世代産業)

浪江
カルチャー共創
(歴史伝統文化～
生活・暮らし)

浪江
空間形成
(機能・インフラ)
(景観・風景)



noma horse village -
ホースヴィレッジ
株式会社SOMA



浪江駅西側コミュニティ共創まちづくり

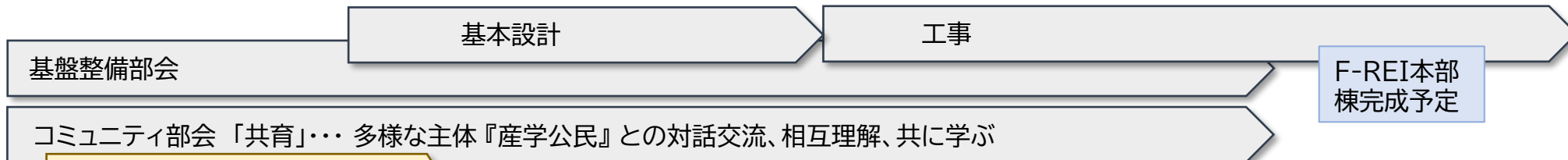


出典:浪江町の旅と観光情報ガイド
「あいべえなみえ」より地域のレストラン



トルコギキョウの施設園芸
特定非営利活動法人Jin

R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11



住民や地域事業者、支援者などの勉強会セミナー、ワークショップ
地域課題と地域経営資源の可視化
あるといい機能



地域の熱い想いとまちづくり
や地域事業アイデアの提案

まちづくりWG

まちづくりガイドラインとエリアマネジメント、
景観ネットワーク等の検討

事業テーマ別WGの形成と
関連企画調査、共創シナリオ策定



推進体制

提案者個別支援と共創WG支援

- ・共創シナリオ構築支援
- ・シナリオに応じた共創パートナー像と参加誘導

伴走支援

自走に向けて

- ・事務局
- ・専門家(アドバイザー)
- ・関係機関・支援機関

(1)まちづくりと地域の課題やニーズ、経営資源

- ・まちの課題や要望と経営資産(資源)になる情報
- ・まちの課題解決策や価値向上のアイデア
- ・まちに将来含めて有ると良い思う機能や事業
- ・F-REIなどの立地機関に不足、求める機能や課題



(1)事業アイデアへの協力、応援等共創の意志

- ・事業に対しての利用者としての協力
- ・農産品やその他資源や、役務、資金、場所等の提供
- ・事業共創パートナーとして人材、協業、企画協力等



(2)まちづくりや事業に役立つ研究や技術シーズ

- ・F-REIや大学、研究機関、大学等のシーズ
- ・地域の伝統的技術や立地企業などの先端技術
- ・人文科学、芸術・クリエイティブ、まちづくり技術
- ・地域に不足する、(1)や(3)に対応可能なシーズ



(4)地域での事業の共創から経営支援

- ・地域での事業創出や共創の支援、伴走
- ・事業化や活動、経営の各種支援、伴走
(協業者から資金、投資、販路、マーケティング等)
- ・ビジネスマッチング
- ・他(多)地域展開支援・連携



(4)事業者の活動協力、協業

- ・事業者のノンコア業務アウトソーシングの事業者
- ・人事、経理、法務、広報や宣伝、WEB/SNS支援



(3)まちづくりと地域(駅西と周辺)での事業のアイデア(町内外)

- ・まちの課題や要望と経営資産(資源)になるもの
- ・まちの課題解決策や価値向上のアイデア、企画
- ・まちの経営資産(資源)を活用する事業アイデア

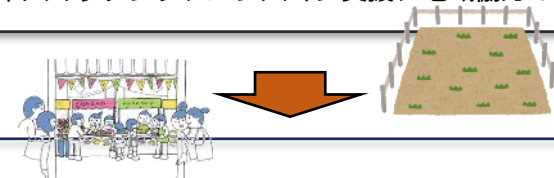


(3) アイデアやシーズを事業化、実施する主体

- ・アイデアや研究シーズの社会実証や地域実装策と主体
- ・駅西地区以外で実施するもの/駅西地区で実施するもの
(敷地や施設を要するもの、テナントとして入居するもの)
- ・エリアマネジメントに相当するサービス
- ・コミュニティビジネスやスタートアップから商業、工場、オフィス等進企業まで
- ・1者(社)で出来ない事業のパートナー募集(共創)する人、ビジネスマッチング、ハンズオン支援、地域協力の希望



- ・コンセプト/まちの機能
- ・Re-ブランディング



(5)地域経営(エリアマネジメント)戦略と実施主体

- ・広義のエリアマネジメント販わい/FM・PM/エネマネ/機能
- ・立地事業者や機能の誘致から活動支援機能
- ・Re-ブランディング事業
- ・継続的な地域事業支援や共創支援と各種コーディネート
- ・リビングラボ等、地域と実証先のコーディネート



(5)基盤整備計画、景観形成

- ・基本となるインフラ整備+PPP事業
- ・浪江町住民や事業者、利用者利便性機能の整備
- ・地区の事業や事業者の誘致や活動に資する機能の整備
- ・地域経営(エリアマネジメント)に資する機能の整備



(1)まちづくりと地域の課題やニーズ、経営資源

- ・まちの課題や要望と経営資産(資源)になる情報
- ・まちの課題解決策や価値向上のアイデア
- ・まちに将来含めて有ると良い思う機能や事業
- ・F-REIなどの立地機関に不足、求める機能や課題



(1)事業アイデアへの協力、応援等共創の意志

- ・事業に対しての利用者としての協力
- ・農産品やその他資源や、役務、資金、場所等の提供
- ・事業共創パートナーとして人材、協業、企画協力等



(2)まちづくりや事業に役立つ研究や技術シーズ

- ・F-REIや大学、研究機関、大学等のシーズ
- ・地域の伝統的技術や立地企業などの先端技術
- ・人文科学、芸術・クリエイティブ、まちづくり技術
- ・地域に不足する、(1)や(3)に対応可能なシーズ



(4)地域での事業の共創から経営支援

- ・地域での事業創出や共創の支援、伴走
- ・事業化や活動、経営の各種支援、伴走
(協業者から資金、投資、販路、マーケティング等)
- ・ビジネスマッチング
- ・他(多)地域展開支援・連携



(4)事業者の活動協力、協業

- ・事業者のノンコア業務アウトソーシングの事業者
- ・人事、経理、法務、広報や宣伝、WEB/SNS支援



(3)まちづくりと地域(駅西と周辺)での事業のアイデア(町内外)

- ・まちの課題や要望と経営資産(資源)になるもの
- ・まちの課題解決策や価値向上のアイデア、企画
- ・まちの経営資産(資源)を活用する事業アイデア

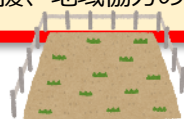


(3) アイデアやシーズを事業化、実施する主体

- ・アイデアや研究シーズの社会実証や地域実装策と主体
- ・駅西地区以外で実施するもの/駅西地区で実施するもの
(敷地や施設を要するもの、テナントとして入居するもの)
- ・エリアマネジメントに相当するサービス
- ・コミュニティビジネスやスタートアップから商業、工場、オフィス等進企業まで
- ・1者(社)で出来ない事業のパートナー募集(共創)する人、ビジネスマッチング、ハンズオン支援、地域協力の希望



- ・コンセプト/まちの機能
- ・Re-ブランディング



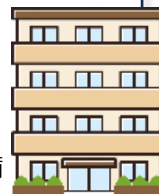
(5)地域経営(エリアマネジメント)戦略と実施主体

- ・広義のエリアマネジメント販わい/FM・PM/エネマネ/機能
- ・立地事業者や機能の誘致から活動支援機能
- ・Re-ブランディング事業
- ・継続的な地域事業支援や共創支援と各種コーディネート
- ・リビングラボ等、地域と実証先のコーディネート



(5)基盤整備計画、景観形成

- ・基本となるインフラ整備+PPP事業
- ・浪江町住民や事業者、利用者利便性機能の整備
- ・地区の事業や事業者の誘致や活動に資する機能の整備
- ・地域経営(エリアマネジメント)に資する機能の整備



(1)まちづくりと地域の課題やニーズ、経営資源

- ・まちの課題や要望と経営資産(資源)になる情報
- ・まちの課題解決策や価値向上のアイデア
- ・まちに将来含めて有ると良い思う機能や事業
- ・F-REIなどの立地機関に不足、求める機能や課題



(1)事業アイデアへの協力、応援等共創の意志

- ・事業に対しての利用者としての協力
- ・農産品やその他資源や、役務、資金、場所等の提供
- ・事業共創パートナーとして人材、協業、企画協力等



(2)まちづくりや事業に役立つ研究や技術シーズ

- ・F-REIや大学、研究機関、大学等のシーズ
- ・地域の伝統的技術や立地企業などの先端技術
- ・人文科学、芸術・クリエイティブ、まちづくり技術
- ・地域には無いが、(1)や(3)に対応可能なシーズ



- ・コンセプト/まちの機能
- ・Re-ブランディング

(4)地域での事業の共創から経営支援

- ・地域での事業創出や共創の支援、伴走
- ・事業化や活動、経営の各種支援、伴走
(協業者から資金、投資、販路、マーケティング等)
- ・ビジネスマッチング
- ・他(多)地域展開支援・連携



(4)事業者の活動協力、協業

- ・事業者のノンコア業務アウトソーシングの事業者
- ・人事、経理、法務、広報や宣伝、WEB/SNS支援



(3)まちづくりと地域(駅西と周辺)での事業のアイデア(町内外)

- ・まちの課題や要望と経営資産(資源)になるもの
- ・まちの課題解決策や価値向上のアイデア、企画
- ・まちの経営資産(資源)を活用する事業アイデア



(3) アイデアやシーズを事業化、実施する主体

- ・アイデアや研究シーズの社会実証や地域実装策と主体
- ・駅西地区以外で実施するもの/駅西地区で実施するもの
(敷地や施設を要するもの、テナントとして入居するもの)
- ・エリアマネジメントに相当するサービス
- ・コミュニティビジネスやスタートアップから商業、工場、オフィス等進企業まで
- ・1者(社)で出来ない事業のパートナー募集(共創)する人、ビジネスマッチング、ハンズオン支援、地域協力の希望



(5)地域経営(エリアマネジメント)戦略と実施主体

- ・広義のエリアマネジメント販わい/FM・PM/エネマネ/機能
- ・立地事業者や機能の誘致から活動支援機能
- ・Re-ブランディング事業
- ・継続的な地域事業支援や共創支援と各種コーディネート
- ・リビングラボ等、地域と実証先のコーディネート



(5)基盤整備計画、景観形成

- ・基本となるインフラ整備+PPP事業
- ・浪江町住民や事業者、利用者利便性機能の整備
- ・地区の事業や事業者の誘致や活動に資する機能の整備
- ・地域経営(エリアマネジメント)に資する機能の整備



(1)まちづくりと地域の課題やニーズ、経営資源

- ・まちの課題や要望と経営資産(資源)になる情報
- ・まちの課題解決策や価値向上のアイデア
- ・まちに将来含めて有ると良い思う機能や事業
- ・F-REIなどの立地機関に不足、求める機能や課題



(1)事業アイデアへの協力、応援等共創の意志

- ・事業に対しての利用者としての協力
- ・農産品やその他資源や、役務、資金、場所等の提供
- ・事業共創パートナーとして人材、協業、企画協力等



(2)まちづくりや事業に役立つ研究や技術シーズ

- ・F-REIや大学、研究機関、大学等のシーズ
- ・地域の伝統的技術や立地企業などの先端技術
- ・人文科学、芸術・クリエイティブ、まちづくり技術
- ・地域に不足する、(1)や(3)に対応可能なシーズ



(4)地域での事業の共創から経営支援

- ・地域での事業創出や共創の支援、伴走
- ・事業化や活動、経営の各種支援、伴走(協業者から資金、投資、販路、マーケティング等)
- ・ビジネスマッチング
- ・他(多)地域展開支援・連携



(4)事業者の活動協力、協業

- ・事業者のノンコア業務アウトソーシングの事業者
- ・人事、経理、法務、広報や宣伝、WEB/SNS支援



(3)まちづくりと地域(駅西と周辺)での事業のアイデア(町内外)

- ・まちの課題や要望と経営資産(資源)になるもの
- ・まちの課題解決策や価値向上のアイデア、企画
- ・まちの経営資産(資源)を活用する事業アイデア



(3) アイデアやシーズを事業化、実施する主体

- ・アイデアや研究シーズの社会実証や地域実装策と主体
- ・駅西地区以外で実施するもの/駅西地区で実施するもの(敷地や施設を要するもの、テナントとして入居するもの)
- ・エリアマネジメントに相当するサービス
- ・コミュニティビジネスやスタートアップから商業、工場、オフィス等進企業まで
- ・1者(社)で出来ない事業のパートナー募集(共創)する人、ビジネスマッチング、ハンズオン支援、地域協力の希望



- ・コンセプト/まちの機能
- ・Re-ブランディング



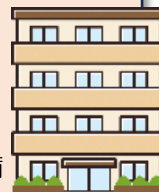
(5)地域経営(エリアマネジメント)戦略と実施主体

- ・広義のエリアマネジメント販わい/FM・PM/エネマネ/機能
- ・立地事業者や機能の誘致から活動支援機能
- ・Re-ブランディング事業
- ・継続的な地域事業支援や共創支援と各種コーディネート
- ・リビングラボ等、地域と実証先のコーディネート



(5)基盤整備計画、景観形成

- ・基本となるインフラ整備+PPP事業
- ・浪江町住民や事業者、利用者利便性機能の整備
- ・地区の事業や事業者の誘致や活動に資する機能の整備
- ・地域経営(エリアマネジメント)に資する機能の整備



社会や地域の課題 ÷ 新市場
(潜在的であればブルーオーシャン)

地域の声・熱い想い

大手企業参画のためには
浪江町地域のプロトタイプの
課題解決事業(成果)から、
他(多)地域展開、他分野展開できる
可能性により産業界の連携が可能

- ・サーキュラーシティ
- ・木質バイオ産業

- ・解体ごみはゴミではない活用方法
- ・請戸川の桜を守る継続財源

課題かアイデア提案か実施主体かポジション
の明確化によるコミュニティ部会の発表者

**課題ニーズ視点
の共創**

社会や地域、暮らしや仕事、
産業や地球規模の課題やニーズ

**事業モデル視点
の共創**

課題と解決技術のマッチングに
必要なビジネスモデルやスキーム、
マネタイズ、アイデア、実施主体形成

**共創WGのテーマの設定
とシナリオ創出**

課題・技術・事業・主体の共通、
また参加動機となるテーマの
シナリオとキャスト

**実施(参画)主体
経営資源視点
の共創**

共創や事業化を推進、実施する人材や
組織とそのリソースや熱意、スキルなど
の経営資源、人材育成や仲間づくり

浪江町外も含む
オープンノベーション
産学連携、異業種連携
プラットフォームも活用

大学、研究機関、企業の研究や
技術シーズ、製品等の
経営資産やポテンシャル

**技術シーズ視点
の共創**

研究会・WGなど
の形成と活動

- ・思い出継承まちづくりWG
- ・燻製ラボWG

**②テーマ別共創プラットフォーム
とワーキング(チーム)形成へ
(オープンノベーション+リビングラボ)**

■地域の声：絆さくらの会 小黒敬三さん（浪江町）

桜の並木の再生を通じて、地域を盛り上げたい
仲間は増えたが、剪定枝の処分、ヘルメットの購入費の捻出など課題が…

■社会や地域の課題

- ①日本の農畜水産、林業の付加価値化や6次産業化のソリューション開発
- ②農業や公園の剪定枝、森林間伐材など未利用木材を活用した「燻製の知の拠点、食の拠点」とのネットワーク構想

「地域の再生シンボルである桜並木の保存活動のマネタイズなど課題解決策を通じて地域の一次産業(農業、畜産水産業、林業)の再生や6次産業化、地域観光や賑わい創出に結び付けたい」



出典:ふくしま桜旅 <https://fukushimasakuratabi.com/entry/sakurahito11>

多様な未利用木材活用の燻製技術による6次産業化事業と地域実装の構想

「燻製ラボWG」 仮称

共創のプラットフォーム
オープンバージョン

地域との共創、実装のプラットフォーム
リビングラボ

■**地域の声**：り庵（リサイクルギャラリー）オーナー 石橋いづみさん（浪江町）

被災と解体で、まちの大事な思い出がゴミとして処分され、町の景観が様変わり…
リユース・リサイクル活動を通じて思い出と人と人とのつながりを取り戻したい

■社会や地域の課題

- ①全国各地の課題となっている災害ごみの対策や廃棄物の活用と復興まちづくり
- ②サーキュラーエコノミー事業やまちづくりへのイノベーション創出

「災害ごみや解体ごみは、ごみではなく一つ一つが生活してきた方々の思い出を継承する復興のパーツであり、コミュニティ再生の地域経営資源である」

■**地域の声**： 會澤高圧コンクリート株式会社
大橋未来さん（浪江町）



出典:福島県観光物産交流協会 ふくしまほんものの旅

解体建物の建材や家具、食器、衣類などのリサイクル事業と思い出の地域景観形成の構想

「思い出継承まちづくりWG」 仮称

共創のプラットフォーム
オープンイノベーション

地域との共創、実装のプラットフォーム
リビングラボ

絆さくらの会
小黑敬三さん

桜~CLT廃材
農業剪定枝



燻製ラボWG

リサイクルギャラリーり庵
石橋いづみさん

災害ごみ
解体資材



思い出継承まちづくりWG

READY SOCIAL(株)
佐藤夏美さん/ ミズノ(株)

ウェルビーイング
ダイバシティ&
インクルージョン



スポーツを活用した
まちづくりWG

(株)渡辺商店
渡邊魁杜さん、川村航大さん

(株)マスヒロ 増子博之さん



モビリティWG

(一社)SOMA
高橋大就さん



馬とふれあいWG

(株)伊達重機
前司 昭博さん

水素100%ホテル
水素調理レストラン




メタバース



お花屋さん



照明技術を活用
したまちづくり



子育て
コワーキング



生物多様性の
まちづくり



若い人の
出会いの場



浪江国際研究学園都市構想と
F-REIをはじめとしたタウンセンター西街区のまちづくり

多様な主体との共創

浪江駅西側地区共創会議における多様な主体「ステイクホルダー」

これまでの共創会議とワーキングの活動の振り返り

✓ 共創主体の多様化と交流の加速化に向けて
産学公民共創への誘導と共創プラットフォームの価値向上

学と地域の共創、リビングラボ連携

個別共創ワーキングの事業化に向けたイメージ

「学」と共創するまちづくりの事例

社会や地域の課題 ÷ 新市場
(潜在的であればブルーオーシャン)

地域の声・熱い想い

大手企業参画のためには
浪江町地域のプロトタイプの
課題解決事業(成果)から、
他(多)地域展開、他分野展開できる
可能性により産業界の連携が可能

- ・サーキュラーシティ
- ・木質バイオ産業

- ・解体ごみはゴミではない活用方法
- ・請戸川の桜を守る継続財源

課題かアイデア提案か実施主体かポジション
の明確化によるコミュニティ部会の発表者

**課題ニーズ視点
の共創**

社会や地域、暮らしや仕事、
産業や地球規模の課題やニーズ

**事業モデル視点
の共創**

課題と解決技術のマッチングに
必要なビジネスモデルやスキーム、
マネタイズ、アイデア、実施主体形成

**共創WGのテーマの設定
とシナリオ創出**

活動のボトルネックなど

課題・技術・事業・主体の共通、
また参加動機となるテーマの
シナリオとキャストイング

**実施(参画)主体
経営資源視点
の共創**

共創や事業化を推進、実施する人材や
組織とそのリソースや熱意、スキルなど
の経営資源、人材育成や仲間づくり

大学、研究機関、企業の研究や
技術シーズ、製品等の
経営資産やポテンシャル

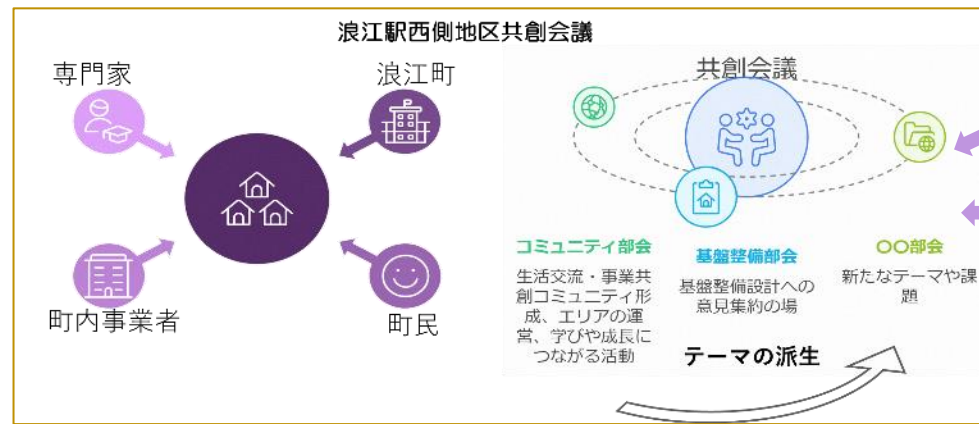
**技術シーズ視点
の共創**

浪江町外も含む
オープンノベーション
産学連携、異業種連携
プラットフォームも活用

研究会・WGなど
の形成と活動

・思い出継承まちづくりWG
・燻製ラボWG

**②テーマ別共創プラットフォーム
とワーキング(チーム)形成へ
(オープンノベーション+リビングラボ)**

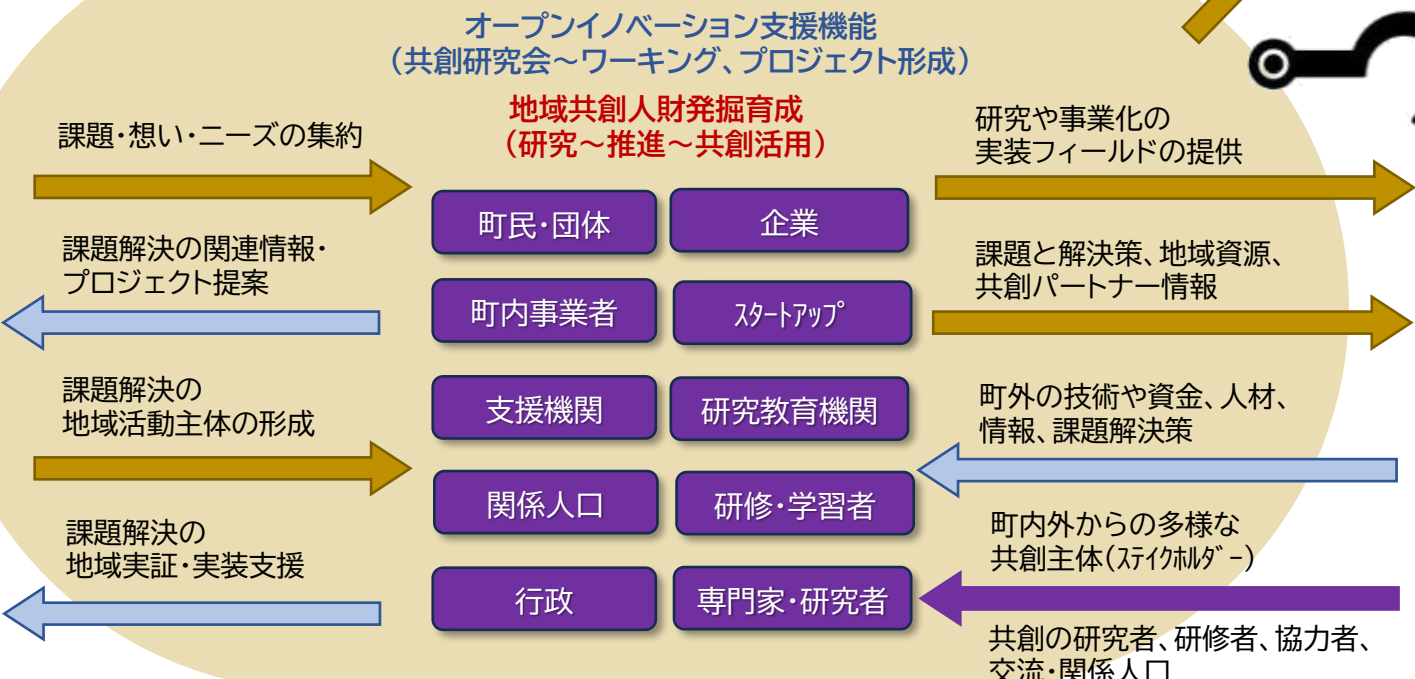


テーマや地域、目的の拡大と継続化、エコシステムの形成
産学官民の共創へ拡充

町外、実施主催者別の
オープンイノベーションの
プラットフォーム活用
(テーマ別、目的別、
参加者特性別等)

浪江町全体の共創ハブ機能プラットフォームとして定着・活用

- 地域共創機能 (リビングラボ)**
- ・地域資源(資産)
 - ・資源活用可能性
 - ・地域主体形成
 - ・地域共創体制
 - ・地域実証や実装
 - ・実装後の保証
 - ・制度化・事業化



- 浪江町内外の資源**
- ・不足するリソース
 - ・新たな経営資源
 - ・不足する共創主体
 - ・共創パートナー候補
 - ・次期テーマや課題に応じた共創主体
 - ・潜在的関係人口 (個人、組織等)

浪江町と包括提携等で関係を持つ大学・研究機関の例

福島国際研究教育機構(F-REI)

- ・ 福島の復興や地域の課題解決と、最先端研究をどう結びつけるか
- ・ 研究成果を住民の生活改善やまちづくり、産業振興につなげる「出口戦略」
- ・ ロボット、農林水産、環境動態、放射線・医療など、多様な分野間の連携や長期的な研究体制の維持が課題
- ・ 教育機関とも連携させ、地域全体の人材育成につなげていく体制づくり
- ・ 国内外から優秀な研究者や学生を呼び込み、長期的に活躍してもらうための環境整備
- ・ F-REIとの共創主体は誰か、地域との共創、産学連携、町外主体との連携での地域連携



国(文科省等)による大学や研究機関に対する社会共創、地域共創と拠点形成、社会実装などへの要求(資金込み)の高まりの活用例

福島学院大学

福島学院大学は、浪江町と連携して「コスモスガーデン」を整備するなど、町の景観づくりや交流促進に取り組む

福島大学

福島大学地域未来デザインセンターは、浪江町に「相双地域支援サテライト」を設置し、地域復興支援や教育環境整備などを行っています。市民中心のまちづくりや、大学生の力を生かした復興支援に取り組んでいます



東京大学

「復興デザインスタジオ」という大学院の設計演習で、福島県浪江町を対象に、都市計画や建築、土木計画の観点から復興やまちづくりの提案が行われています

東北大学

東北大学(グリーン未来創造機構)は浜通り地域の「創造的復興」に向けて、南相馬市や浪江町など複数自治体と包括連携協定を結んでいる。

東京農業大学

東京農業大学は、浪江町と2019年1月31日に連携協定を締結し、現地拠点を構えて「復興知」を活用した人材育成や農業再生に取り組んでいます。インターンシップや復興支援サポーター育成など、学生が現地に関わるプログラムも展開

企業

スタートアップ

研究教育機関

研修・学習者

専門家・研究者

日本大学

震災時の全国大学の支援の流れの中で、浪江町と日本大学工学部との関係が位置づけられている。

岡山大学

浪江町との自治体連携事業において、木質材料学の専門家として岡山大学の研究者が研究・技術面での連携する。

弘前大学

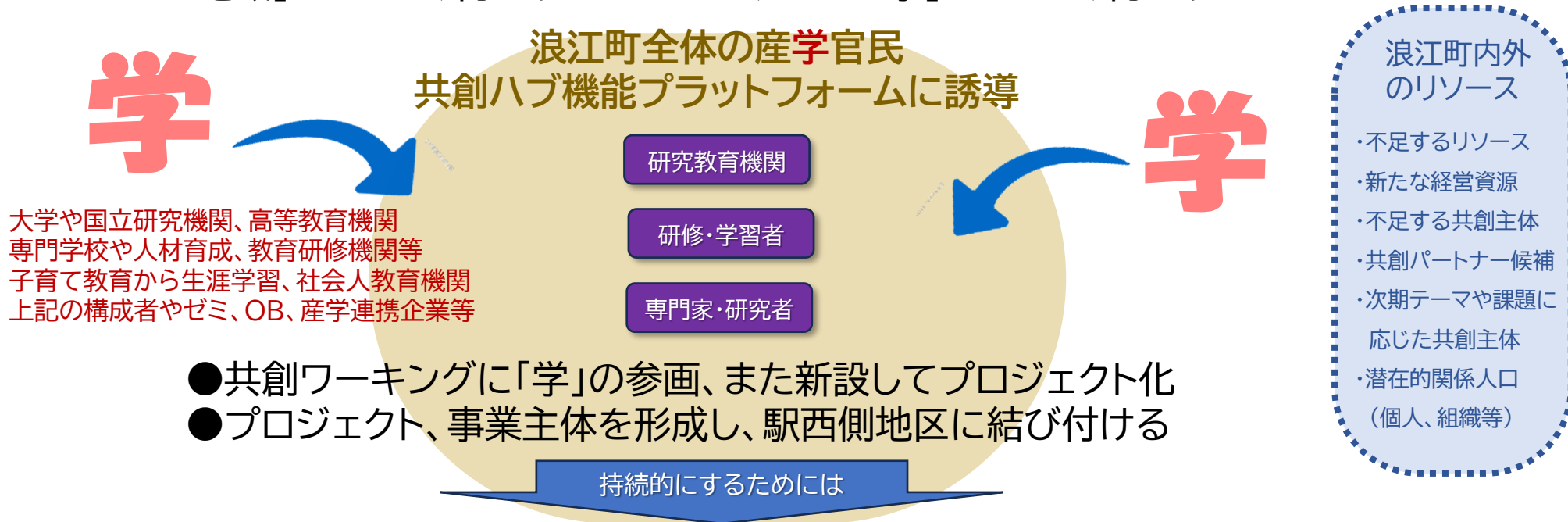
弘前大学は、福島イノベーション・コースト構想の一環として、浪江町の「桜の復興」と観光資源の保全に向けた教育プログラムを実施しています。東京農業大学とも連携しながら、桜を軸にした地域資源の再生に取り組

会津大学

ロボットテストフィールドなどのプロジェクトでは、企業と連携し、南相馬市・浪江町にまたがる形で研究・実証の場を整備

地域とF-REIをはじめとした 多様な主体が共生する持続可能なまちづくりの実現

- 国内外の「学」に参加、共創してもらうためにどうすればよいか
- 「地域」としては、何をすればよいか、 また「学」としては、何をすればよいか



- 地域共創・リビングラボの仕組み(機能)化と運営主体やコーディネーターの育成

町の機能を地域ブランディング化

- 浪江町へのスポット、レギュラーの来訪や進出に結び付ける
- 浪江駅西側地区に立地、またに西側地区の機能や共創パートナーとして加わる
- 浪駅西側に留まらず江町全体、また社会の課題解決や価値向上に結び付ける
- 大学等の研究や産学連携、地域実証、社会実装、社会人教育等のマネタイズに結び付ける

学と地域共創、
リビングラボ連携

まちづくりや事業に役立つ研究や技術シーズ

(1)まちづくりと地域の課題やニーズ、経営資源

- ・まちの課題や要望と経営資産(資源)になる情報
- ・まちの課題解決策や価値向上のアイデア
- ・まちに将来含めて有ると良い思う機能や事業
- ・F-REIなどの立地機関に不足、求める機能や課題



(1)事業アイデアへの協力、応援等共創の意志

- ・事業に対しての利用者としての協力
- ・農産品やその他資源や、役務、資金、場所等の提供
- ・事業共創パートナーとして人材、協業、企画協力等



(2)まちづくりや事業に役立つ研究や技術シーズ

- ・F-REIや大学、研究機関、大学等のシーズ
- ・地域の伝統的技術や立地企業などの先端技術
- ・人文科学、芸術・クリエイティブ、まちづくり技術
- ・地域に不足する、(1)や(3)に対応可能なシーズ



リビングラボ+
実証フィールド

・コンセプト/まちの機能
・Re-ブランディング

(4)地域での事業の共創から経営支援

- ・地域での事業創出や共創の支援、伴走
- ・事業化や活動、経営の各種支援、伴走
(協業者から資金、投資、販路、マーケティング等)
- ・ビジネスマッチング
- ・他(多)地域展開支援・連携



(4)事業者の活動協力、協業

- ・事業者のノンコア業務アウトソーシングの事業者
- ・人事、経理、法務、広報や宣伝、WEB/SNS支援



(3)まちづくりと地域(駅西と周辺)での事業のアイデア(町内外)

- ・まちの課題や要望と経営資産(資源)になるもの
- ・まちの課題解決策や価値向上のアイデア、企画
- ・まちの経営資産(資源)を活用する事業アイデア



(3) アイデアやシーズを事業化、実施する主体

- ・アイデアや研究シーズの社会実証や地域実装策と主体
- ・駅西地区以外で実施するもの/駅西地区で実施するもの
(敷地や施設を要するもの、テナントとして入居するもの)
- ・エリアマネジメントに相当するサービス
- ・コミュニティビジネスやスタートアップから商業、工場、オフィス等進企業まで
- ・1者(社)で出来ない事業のパートナー募集(共創)する人、ビジネスマッチング、ハンズオン支援、地域協力の希望



(5)地域経営(エリアマネジメント)戦略と実施主体

- ・広義のエリアマネジメント販わい/FM・PM/エネマネ/機能
- ・立地事業者や機能の誘致から活動支援機能
- ・Re-ブランディング事業
- ・継続的な地域事業支援や共創支援と各種コーディネート
- ・リビングラボ等、地域と実証先のコーディネート



(5)基盤整備計画、景観形成

- ・基本となるインフラ整備+PPP事業
- ・浪江町住民や事業者、利用者利便性機能の整備
- ・地区の事業や事業者の誘致や活動に資する機能の整備
- ・地域経営(エリアマネジメント)に資する機能の整備



浪江国際研究学園都市構想と
F-REIをはじめとしたタウンセンター西街区のまちづくり

多様な主体との共創

浪江駅西側地区共創会議における多様な主体「ステイクホルダー」

これまでの共創会議とワーキングの活動の振り返り

共創主体の多様化と交流の加速化に向けて
産学公民共創への誘導と共創プラットフォームの価値向上

✓ 学と地域の共創、リビングラボ連携

個別共創ワーキングの事業化に向けたイメージ

「学」と共創するまちづくりの事例

地域や生活者、仕事や学びの課題解決と、その地域共創や実証のためのフィールド

1. 課題解決(ニーズ)型リビングラボ【地域主体】

- ・地域課題、地域(経営)資源、地域主体の発見・抽出
- ・課題解決、地域価値向上に向けた議論、方策検討・地域主体形成、意識行動変容、共創活動
- ・取り組み実践、不足リソース誘致方策
- ・まちづくり推進の場(シビックイノベーション)

【主体と機能形成】

- ・地域活動主体
- ・地域拠点
- ・施策制度
- ・事業モデル
- ・地域ネットワーク
- ・コーディネーター

2. 実証(シーズ)型リビングラボ【地域協力】

- ・研究機関や企業、スタートアップの仮説やアイデア技術や製品サービス等取組みの実証研究や実証トライアル、調査、テストマーケティングの場
- ・モノ&コトづくり共創支援(実証デモンストレーション)
- ・研究・調査のデータを地域や協力者にフィードバック

全国各地域、各施設、各対象者のリビングラボのプラットフォームも活用

実証フィールド

自然環境
農地
地域エリア
都市
職場
町内
学校
店舗
各種施設
空間
住宅
生活
時間

- ・別条件地域実証
- ・他(多)地域展開

フィールド側のステイクホルダー

実証対象者

(リビングラボ共創対象)

従業員リソースグループ(ERG)
(employee resource group)

ピアサポート・当事者

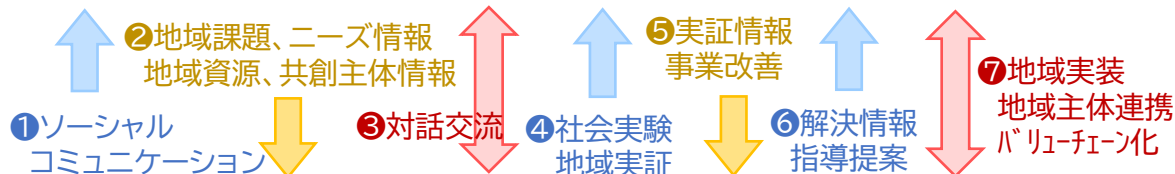
利用者・顧客
生活者

地域住民
関係人口含む

クラスター
実証都市
国プロジェクト

自治体

既存リビングラボ
希望リビングラボ



オープンイノベーションのプラットフォーム

産学連携、異業種連携、官民連携など1者ではできない価値創造やイノベーション、事業化の共創とテーマごとの研究会やワーキング等

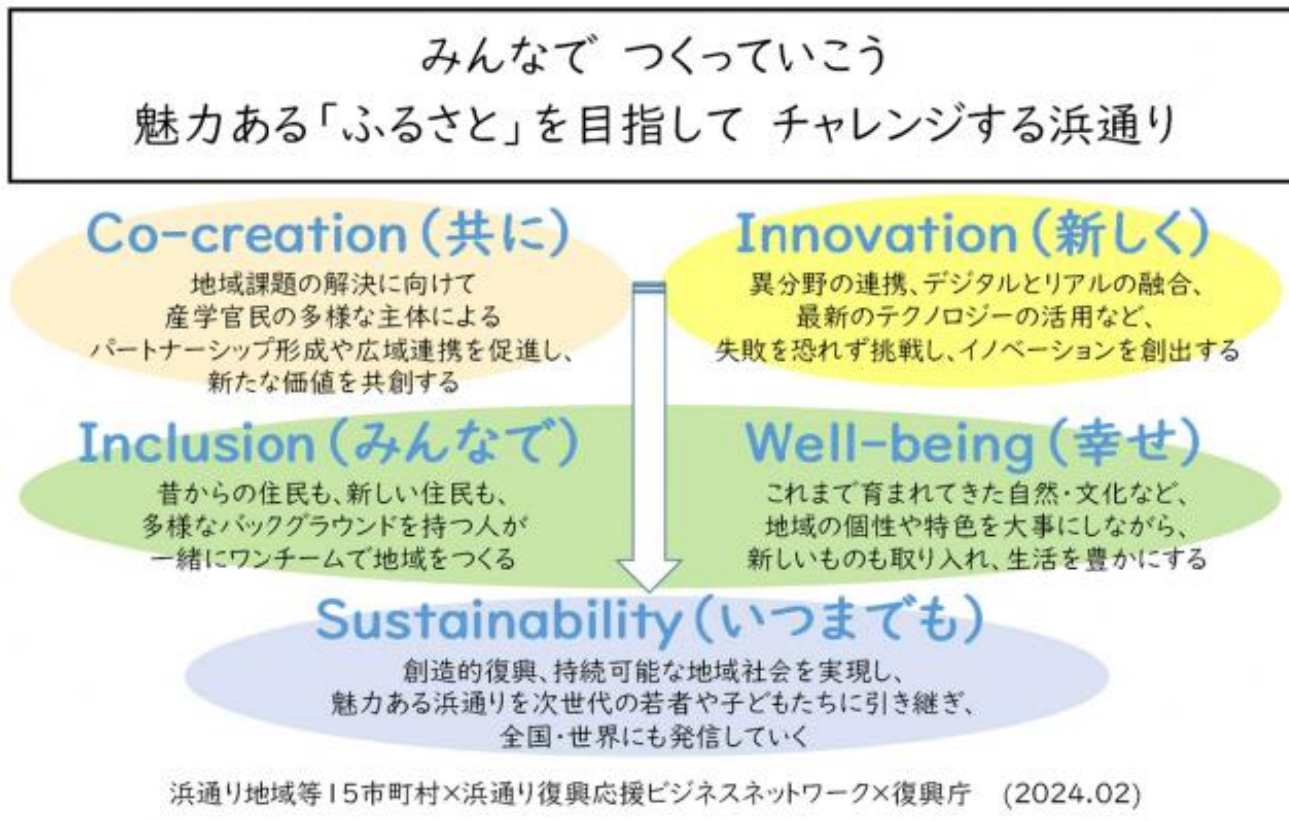
現状、多くのリビングラボは『課題解決型リビングラボ』を展開中。その原資の多くは、行政(関係自治体)からの補助金、国からの助成金、大学の研究費、特定の企業からの出資等に依存傾向が大きい



復興庁「浜通り復興リビングラボ」について

復興庁は、福島県の浜通り地域等における生活環境向上の実証事業プログラム「浜通り復興リビングラボ」を福島国際研究教育機構（Fukushima Institute for Research, Education and Innovation : F-REI）や福島県等のパートナーとともに2023年度から推進しています。「リビングラボ」は、人々が生活する場でイノベーションを実践していくプログラムで、生活環境の向上に向けた官と民のパートナーシップがこの地域等に形成されることを目指しています。

浜通り復興リビングラボ宣言



出典:復興庁ホームページより

浜通り復興リビングラボ ～サイエンス×官民共創まちづくり～

背景・目的

- ・福島国際研究教育機構(F-REI)が浜通りに立地することにより、国内外から研究者やその家族が浜通りに移住・定住することが想定され、浜通りでは、従来の住民や移住者はもとより、今後来訪する研究者のためにも**生活環境を向上**させていくことが期待される。
- ・F-REIにおいて、多くの実証事業が浜通り地域において実施されることとなり、**地元の実証事業受入能力**の更なる向上が必要。
⇒最新のサイエンスやテクノロジーを積極的に活用し、**住宅、医療、教育、交通、買物等の生活環境に係る地域課題の解決**につなげることを目指すとともに、**浜通り地域における実証事業受入能力向上**を支援するため、「浜通り復興リビングラボ」事業を実施する。

浜通り復興リビングラボ～サイエンス×官民共創まちづくり～

住む（住宅）、出かける（交通）、学ぶ（教育）、癒やす（医療）、楽しむ（買物・娯楽等）といった生活環境分野で、産学官の協働のもと、実証事業の企画・実施を行い、**地域における生活環境向上**につなげる。



R6年度スケジュール

- 4月：4/5(金)実証事業参加企業公募開始
4/16(火)公募企業向け説明会
(地域課題共有)
4/18(木)企業間意見交換会@復興庁
4/23(火)現地視察
- 5月：5/31(金)公募〆切
- 6月：マッチング会議発表企業決定
第1回シンポジウム・マッチング会議
- 実施プロジェクト決定・発表
実証事業企画調整
調整が整った事業から順次実施
(原則としてR7年度末まで)
- 3月：第2回シンポジウム
専門家による実証事業総評

参加の主なメリット(自治体)

- ・民間企業の知見や財源を活用しながら、地域課題を民間企業と共に最新技術で解決する、**地元主体のまちづくり**を実感できる。
- ・未来のまちの姿に向け、地域住民が新商品・サービス・ビジネスモデルを使った**より良い暮らしを一足先に体験**することができる。
- ・実証から実装へ向けた展開を支援することにより、浜通りにおける**地域課題の解決**、ひいてはF-REI研究者受け入れ環境の**向上**につなげられる。

参加の主なメリット(民間企業)

- ・地域住民が生活の中で抱える課題に即して、**新しい商品・サービス・ビジネスモデルの開発**を行うことができる。
- ・参加者募集や関係団体等との調整など、**受入自治体や復興庁、専門家の支援**が得られる。
- ・「福島復興」という**社会的意義のある目標**に貢献できる。
- ・技術的な課題について、**将来のF-REI研究との連携も視野**に入る。

秋葉原先端ナレッジフィールドとUDXオープンカレッジ (地域拠点:2006年~2016年)

秋葉原クロスフィールド、秋葉原UDX内にある
新たな産業や文化の創出のためのプラットフォーム機能施設



各種共創研究会

TOKYO FOOD THEATER ⑤+⑩

AKIHABARA THEATER STUDIO

Akihabara Advanced Academy & Lab.



秋葉原まちらぼ (リビングラボ地域実証フィールド)

秋葉原観光推進協会 アキバ観光協議会



オアシス@アキバ タウンメディア (千代田区/日本たばこ他)



AKIBA Cancer Forum



神田やっちゃんまつり

アキバ 3D宣言



アキバロボットモビリティ ポーターサービス (国土交通省)



Nikon UP×DRAGONBALL EVOLUTION@AKIBA



音展・オーディオホームシアター展 (日本オーディオ協会)

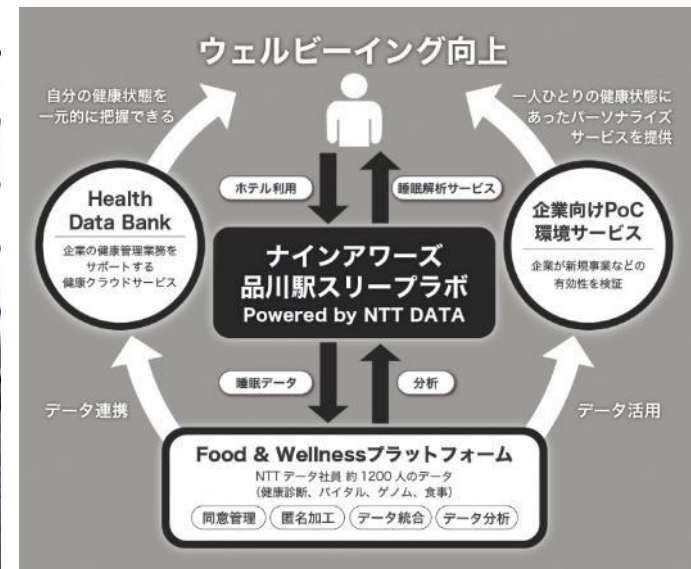
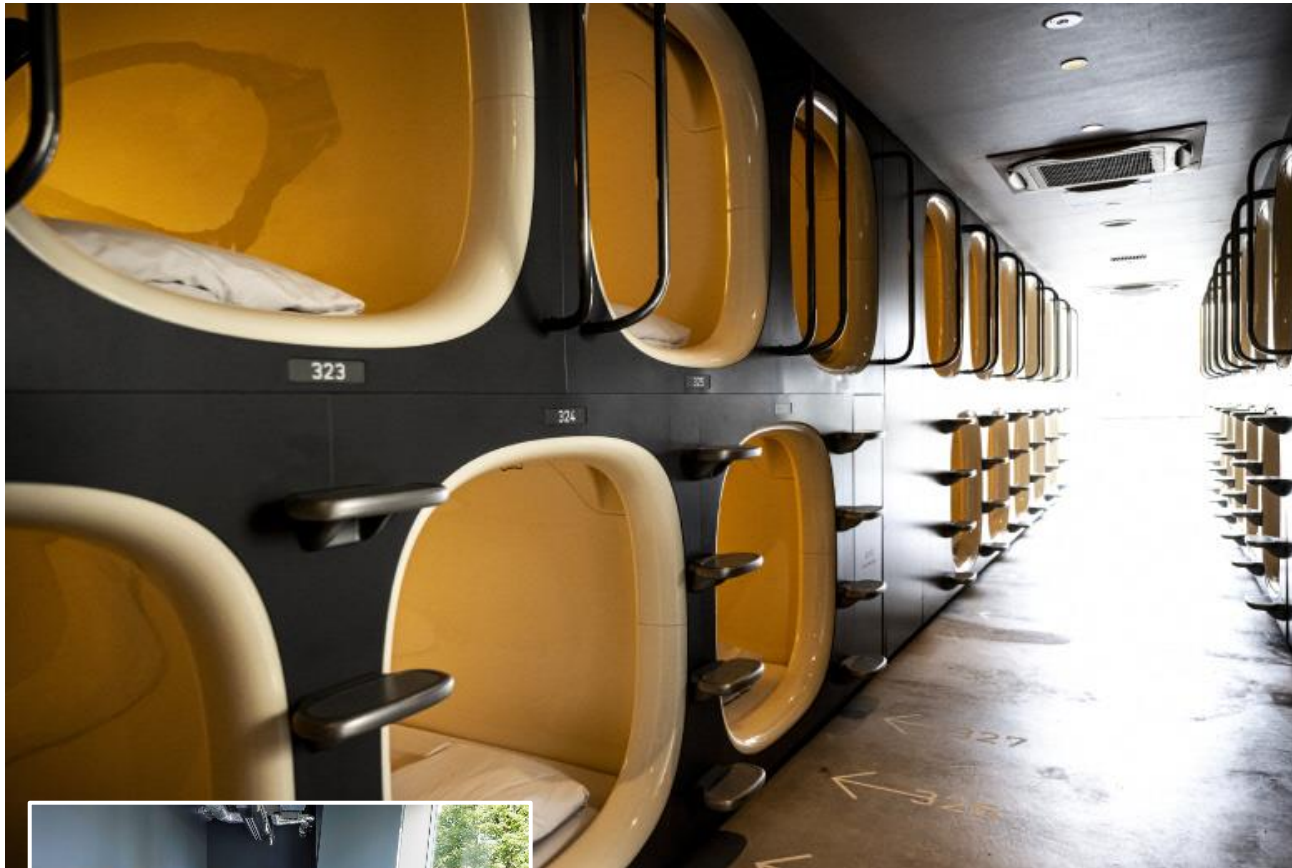


シックハウス、シックビルディング対策に



一泊無料!

事例) ナインアワーズ品川駅スリープラボ (Powered by NTT DATA)



宿泊者の睡眠を医療機器レベルのデータで分析・提供

空室状況

		2026年05月						
		25日(月)	26日(火)	27日(水)	28日(木)	29日(金)	30日(土)	31日(日)
♂ 男性	○	¥4100	△	△	△	△	○	○
	△		¥5500			¥9000	¥11700	¥6200

※各1名様あたりの空室状況になります

引用:NTTデータホームページ→https://www.nttdata.com/jp/ja/trends/data-insight/2024/0723/?utm_source=yahoo&utm_medium=cpc&utm_campaign=datainsight_dsa&utm_content=dsa&yclid=YSS.1001198022.EAlaIQobChMI64PA973TIAMVAoCmAx2slwLZEAAYASAAEgLJNfD_BwE&sa_p=YSA&sa_cc=1001198022&sa_t=1779679284524&sa_ra=E7

学

- 研究者の実証研究フィールドに対するニーズ
- 社会実装による大学発ベンチャーや知財価値化へのニーズ
- 研究者の獲得や安定確保、引継ぎによる継続研究など雇用面のニーズ
- 学生獲得のための学生のニーズ
- 教育や人材育成の場やパートナー獲得としてのニーズ
- 産学連携や委託研究などの外部資金獲得のニーズ
- 企業実証の支援や評価による連携ニーズ
- 自治体や地域事業者、住民などのからの支援や協力を受けるニーズ
- 実証研究に関わるコストの削減ニーズ
- 地域共創などに対する国などの支援や交付金獲得のニーズ
- 大学の社会や地域貢献への対応ニーズ

学と地域共創、
リビングラボ連携



多様な主体のリビングラボの活用ニーズ

民・地域

(住民・事業者・産業・自治体)

- 地域課題解決、住民の悩み解決
- 地域事業の高付加価値化とマネタイズ
- 生活サービスの向上、住民の情報収集機会の拡充
- 地域ブランディングと地域製品や不動産の価値向上
- 実証関係者の地域流入や交流による地域経済活性化

産

- 実証フィールド活用ニーズ
- フィールドと学関連の施設や装置の活用
- 産学連携の機会、学の評価や監修の獲得
- 地域課題や社会課題の把握
- テストマーケティングから
- 地域の仕入れや販路開拓、製品教育の活用
- R&D型プロモーションやショールーム機能

浪江国際研究学園都市構想と
F-REIをはじめとしたタウンセンター西街区のまちづくり

多様な主体との共創

浪江駅西側地区共創会議における多様な主体「ステイクホルダー」

これまでの共創会議とワーキングの活動の振り返り

共創主体の多様化と交流の加速化に向けて
産学公民共創への誘導と共創プラットフォームの価値向上

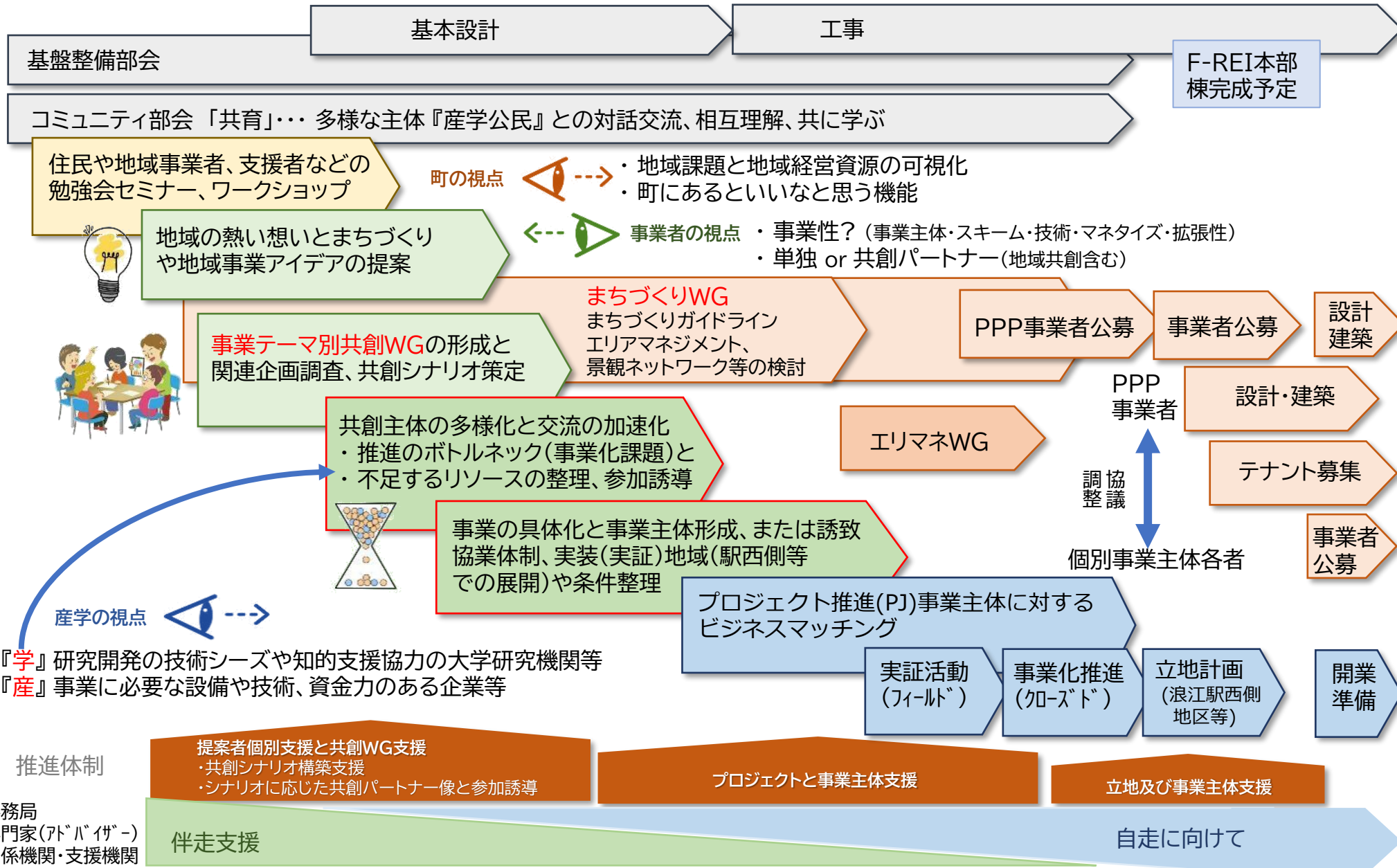
学と地域の共創、リビングラボ連携

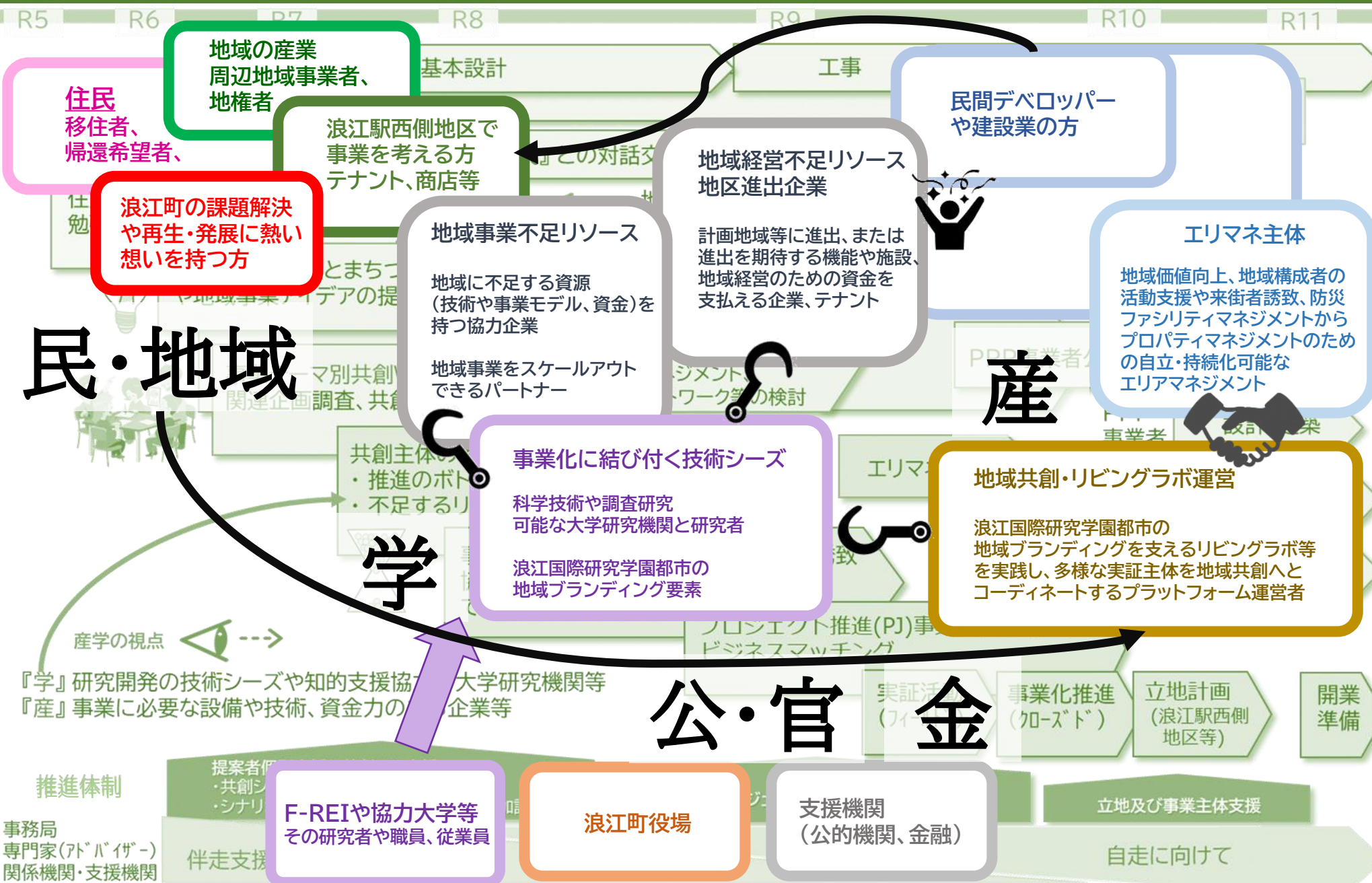
✓ 個別共創ワーキングの事業化に向けたイメージ

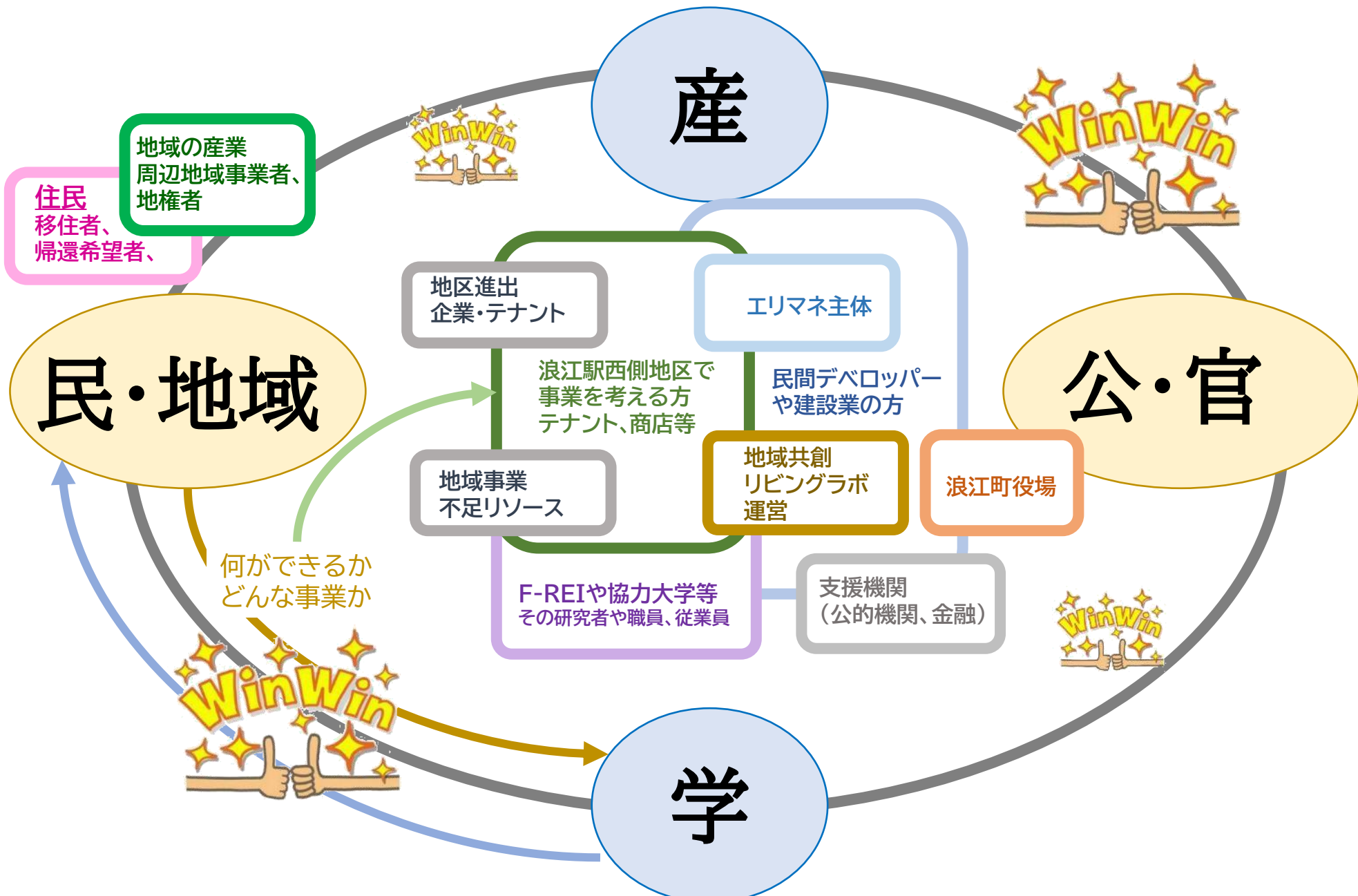
「学」と共創するまちづくりの事例

今後の共創会議の共創WGと事業化推進、支援の流れ(案)

R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11







浪江国際研究学園都市構想と
F-REIをはじめとしたタウンセンター西街区のまちづくり

多様な主体との共創

浪江駅西側地区共創会議における多様な主体「ステイクホルダー」

これまでの共創会議とワーキングの活動の振り返り

共創主体の多様化と交流の加速化に向けて
産学公民共創への誘導と共創プラットフォームの価値向上

学と地域の共創、リビングラボ連携

個別共創ワーキングの事業化に向けたイメージ

✓ 「学」と共創するまちづくりの事例

産学連携、地域連携を例に(共創支援から関係者生活支援までの地域経営事業)

一般的には大学等をフックに進出する産学などのR&Dのプロジェクトに対する共創（ナレッジマネジメントやオープンイノベーション）から地域実証、地域共創（リビングラボ）を支援するエリアマネジメント

実証フィールド機能「リビングラボ機能」として、フィールド活用関係者に対する地元地域側の施設や支援事業、サービスの事業創出、人材育成と各サービスのコーディネート機能の組合せによる地域経営

コア業務 ナレッジマネジメント等

- ① 研究開発施設・設備 ※研究用設備と生産量産設備との違い
- ② 研究開発支援サービス(課題提供)
- ③ 共創支援サービス(オープンイノベーション)
- ④ ソーシャルコミュニケーション支援
- ⑤ オペレーション・コーディネート
- ⑥ 実証支援サービス(リビングラボ)

ノンコア業務 アウトソーシング等

- ① 研究開発のノンコア業務アウトソース
- ② 生活支援施設・住宅・利便施設(長短期)
- ③ 生活支援サービスのアウトソース
- ④ 研究者家族サービス支援
- ⑤ 地域交流サービス
- ⑥ 視察見学研修者アテンド(通訳)



地域人材・事業者・産業
活用ビジネスの創出と仲介

JAXA相模原キャンパス移転に反対する地元商店街「にこにこ星ふちのべ協同組合」らが、小中学校PTA連絡協議会や自治会連合会、商店連合会など各団体にも協力を求め、3万1796人の署名を集めて現在地での事業継続を国に要望する署名活動の結果、宇宙航空研究開発機構（JAXA）は一部移転にとどまり、相模原キャンパス（相模原市中央区由野台3）は存続することになった。

出典：にこにこ星ふちのべ商店会ホームページ



出典：タウンニュース 相模原中央区版



大学教職員、研究者、留学生と地域の住民や事業者とのワークショップ

この通信は、学研高山地区及び周辺地域の価値向上に向けた取り組みについての内容をお知らせするものです。

学研高山地区及び周辺地域 魅力あっぷ通信

Vol.5
R8.4

発行：生駒市学研推進課

令和7年度第3回ワークショップで意見交換を行いました。

生駒市では、令和6年度から学研高山地区第2工区及び周辺地域の魅力向上を考えるワークショップやアンケート等を行っています。令和7年度は、地域の魅力向上につながる拠点を検討しました。

【日時・場所】 令和8年2月10日(火)・奈良先端科学技術大学院大学

【アドバイザー】 奈良県立大学 教授 佐藤 由美 氏

【参加者】 15名(第2工区地権者、周辺住民の方、地域事業者、学生、大学職員)

【事務局】 生駒市・奈良先端科学技術大学院大学

第3回ワークショップの様子

令和7年度第3回目となる今回のワークショップでは、これまでの取組みを踏まえて作られた施設構想案のラフ案をもとに、求められている機能の過不足等について話し合い、この地域の魅力向上につながる施設構想案作りを進めました。



総括コメント(アドバイザー 佐藤 由美 教授より)

ラフ案をもとに深掘りをされましたが、それぞれの班で深める方向性に特徴がありました。

施設に求められる機能について、具体的な人・場所のイメージや「機能同士の結びつき」を念頭に細かく議論している班や、資源の活用法を議論していた班もありました。そのほかにも採算性や「連携と調和のとれた運営」など様々な視点の議論が交わされ、提案もされました。

今回までの意見交換を踏まえ作成する構想案は、地権者と市だけでは実現が難しいかもしれません。だからこそ、この取組みを市民の方々に広く伝え、民間企業等も含めた多くの人たちが関わることで、実現に向けて協働するきっかけになればいいと思います。

この地域のまちづくりが次のステップに上がるときに、今後もこうしたつながりが続いてほしいです。



お問い合わせ：生駒市役所 学研推進課
TEL0743-74-1111(内線3870)
Mail:gakken@city.ikoma.lg.jp

この事業についての詳しい内容は生駒市公式HPをご覧ください。



第3回ワークショップの結果

各班において構想案のラフ案をもとに、新たな視点で議論された具体的な機能や、資源の活用方法または運営方法についてのアイデアなど、様々な視点での意見が出ました。

広域的な地域交流 未来へのゲートウェイ

この場所だからこそ得られるワクワク感や新しさ、高山地域の魅力が伝わり、賑わいを創出できるアイデアについて話し合いました。

高山地域でとれた食材を、食べるだけでなく、体験として楽しめる機能や、人と人とのつながりを生むような様々な意見が出ました。



佐藤先生 | 人や場所のイメージを具体化したうえで、この場所にあるべき機能について考えられていました。

食・健康・文化・学び、交流拠点 生活の質が高まるたけまるタウン

学研高山地区ならではの「サイエンス」を活かせる商業機能について色々なアイデアが出ました。

歴史と先進性の調和や、先端大の研究技術を用いた発酵食品、留学生による国際色豊かな料理を提供できる場など大学とのつながりを感じる意見が出ました。



佐藤先生 | サイエンスという特色を盛り込みながら、具体的な機能について議論されていました。

地域と大学の課題やニーズがみつかる・つながる暮らしのまちらボ

産学連携や大学施設を地域交流に活用できるものにするための機能について、採算性を考えながら話し合いました。

産学連携による技術を活用した実証実験施設や、ゲストハウス等、地域とつながり共創の拠点となる大学関連施設について多くの意見が出ました。



佐藤先生 | 採算性を大事に議論されていました。また、産業界とのつながりについても考えられていました。

自然・歴史文化との共生 みんなで活用！高山地区の資産

近隣の貸農園や農業体験所との差別化を生むためのアイデアについて話し合いました。

地域資源を利用した熱源を使ったハウス栽培や循環型の農業のほか、就農の課題も学べる特徴を持った農業体験所の運営など、自然と地域を活用した意見交換が行われました。



佐藤先生 | 高山の資源を活かしていく視点をもちながら、運営の側面を具体的に深掘りされていました。

今後の予定

今回のワークショップで出た意見を「高山地区の魅力向上につながる拠点」構想案としてとりまとめ、今後構想案の実現に向けた取組みを進めていきます。

成果を学長、市長、ほかにプレゼンテーション





医療イノベーションと新しいライフスタイルで、健康寿命の延伸をリードするまちへ



健康への意識を変え、新しいライフスタイルを創造する。

医療イノベーションにより「循環器病の予防と制圧」を実現する。

健康づくりと医療イノベーションの好循環で、地域の活力を創出する。

① 健都レールサイド公園



「気付き」、「楽しみ」ながら「学べる」をコンセプトとした公園。国立循環器病研究センター等による監修のもと、複数のウォーキングコースや健康遊具を整備。



② 国立循環器病研究センター



病院、研究所、オープンイノベーションセンターが一体となった国立高度専門医療研究センター。センター内には企業・大学等と共同研究の拠点となるオープンイノベーションラボ等を整備。

③ 健都イノベーションパーク

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所が移転。健康・医療関連企業等の研究・開発施設が集積。



④ 健都ライブラリー



健都レールサイド公園の一角にあり、各種健康イベントが開催できる多目的室や、カフェスペースなどを備える図書館を多機能化した施設。1階にはゼロ系新幹線の先頭車両を展示。



北大阪健康医療都市

Northern Osaka Health and Biomedical Innovation Town



産官学民共創プラットフォームの形成

- 実証フィールド形成に協力いただく地域の事業者や施設、市民や団体

クラスター形成



国立循環器病研究センター
国立医薬基盤・健康栄養研究所
コプロ・ウォーター等進出企業

健康・医療クラスター形成 オープンイノベーション推進

アカデミア（学）・企業（産）中心
学学連携・企業連携・スタートアップ

共創の実証フィールド
地域課題やニーズ
健康データを提供
シーズ活用の地域事業の構築

仕組み

助言指導
研究成果の還元

実証フィールド



健康・医療のまちづくり 「健都モデル」リビングラボ

行政（官）・企業（産）の連携
地域事業者・市民（民）の参画

⇒ ヘルスケア産業の創出
産学連携、企業連携の促進による
イノベーションの創出

⇒ 健康への意識を高め、行動変容とともに
新しいライフスタイルを創造し、
主体的コミュニティ活動やエリマネを醸成
(リテラシー向上から行動変容まで)

まちづくりとイノベーションの好循環で地域活力の創出
※好循環を生み出す「仕組み」づくり、共創のプラットフォームの形成
両者をつなぎコーディネートする担い手が必要

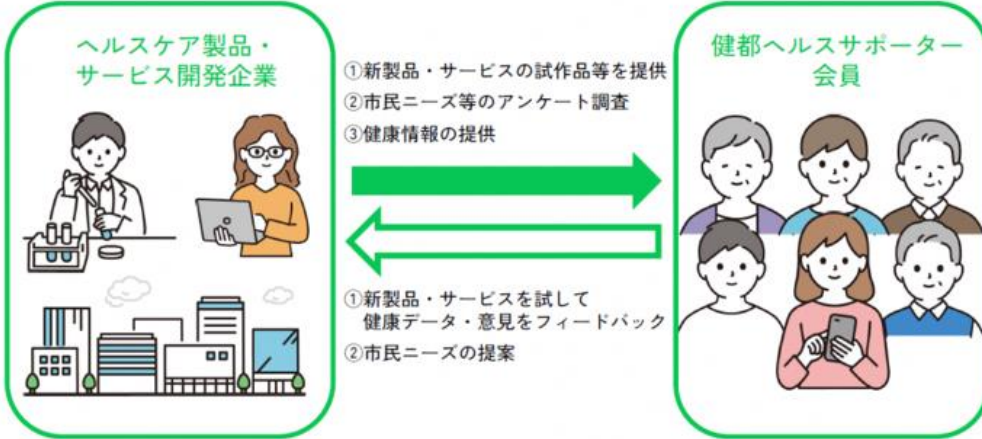
- 連携実証フィールド
- 市民サポーター
- リビングラボプラットフォームでのテーマ別活動グループ、コミュニティビジネス等
- 自分事化とまちづくりへの参画

試行的な取組みテーマの研究会型プラットフォームと実証プロジェクトによって実現を目指す

健都ヘルスサポーターと健康科学研究応援隊

みんなの声で技術をカタチに

市民ニーズに応じた新製品の開発を実現する双方向システム



健都ヘルスサポーター募集!

..... 健都ヘルスサポーターってなに?

- 新しい製品をいち早くお試し
- 新しいヘルスケア製品・サービスを試して健康データ・意見をフィードバック
- LINEの友だち追加はごらんから
- 楽しみながらポイントを貯めて使い分け健康に
- 健康情報の追加やアンケートに答えてポイントが貯めたら様々なアイテムがもらえます
- LINEアンケートで聞きたいみんなの知りたい情報を提供
- ※研究や調査に参加する際は、必ずご登録ください

— みんなの声で技術をカタチに —
市民ニーズに応じた製品開発を実現



お問い合わせ先
株式会社 健都ヘルスサポーター TEL: 05-6384-0514
〒250-0292 静岡県静岡市清水区藤原1-1-1 TEL: 05-6383-1366

一般社団法人
健都共創推進機構

KENTO 健康科学研究 応援隊

ヘルスケア関連製品・サービス開発や調査の協力とともに、健康づくりに取り組みましょう!

18歳以上対象
会費無料
右記のQRコードからお申し込みください

KENTO 健康科学研究応援隊とは

現在、多くの企業・研究機関等が健康・休養・栄養・運動等々、ヘルスケア、健康科学関連の製品・サービス開発に取り組んでいますが、実際に製品やサービスを利用するのは「ヒト」です！
本当に役に立つものなのか？十分な効果があるのか？などを「ヒト」で確認・実証する段階が必須と考えられています。
(一社) 健都共創推進機構は、ヘルスケア・健康科学関連の研究・調査に参加していただける方々を会員とする「KENTO 健康科学研究応援隊」という新たな取り組みを開始しました。
皆さんも研究や調査に参加することで、企業・研究機関等と共に、新しい製品やサービスを生み出してみませんか？
「興味がある、応援してあげよう！」とっていただいた方は、ぜひ、ご登録下さい！

研究参加の流れ

1. 新商品・サービスを開発したい企業から依頼

2. 応援隊の中から希望者を募る

健都における過去の研究事例

- ・血管年齢測定と生活習慣アンケート
- ・糖化度測定と健康意識アンケート
- ・アプリを用いた口腔機能チェック
- ・歩行速度測定システムによるデータ収集
- ・運動機能改善プログラム体験
- ・脳の健康チェック体験など

※研究ごとに協力していただく内容は変わります。
募集条件によってはご参加いただけない場合がございます。

特典 1

専用アプリで測定データ確認や日々の健康管理を!

測定会や研究等で測定した結果を専用アプリ(スマートフォン・PC)の「マイページ」からご確認いただけます。結果は表やグラフで表示され、過去のデータとの変化も見ることができます。
また、「健康手帳」機能で日々の健康情報(血圧・体温・体重等)を管理することができます。

※アプリを含むシステムは(一社)プレジジョンヘルスケア研究機構が運営しています。

特典 2

健都地区で開催される「健康測定会」(定員約40名・予約先着順)に無料で参加できます!

半年に1度開催予定の「健康測定会」で、3つの測定を受けていただけます。健康づくりにお役立て下さい。
◇対象項目: 体組成・筋力・糖化度
(※測定器は変更になる場合があります)

<h4>体成分分析測定</h4> <p>部位別の体脂肪率や筋肉量などを測定</p>	<h4>筋力測定</h4> <p>全身の筋力の指標とも書かれている握力や、肩甲骨や腕の裏のリスクに関わる足の筋力を測定</p>	<h4>糖化度測定</h4> <p>老化の原因となるAGES(最終糖化生成物)を測定</p>
---	---	--

4つの主要研究会とこれまでの地域実証・取組内容

運動マネジメント研究会



Goal: 無関心層の意識・行動変容とコミュニティ形成。

- 大阪経済大学 高井PJ: 自治会長など地域キーマンを通じたレールサイドパーク遊具の効果的活用と促進。
- コミュニティ融合: 継続的な運動機会を通じた分断コミュニティ(新旧住民、吹田・摂津)の交流醸成。



オーラルヘルス研究会



Goal: 国内で稀有な「オーラルヘルス」に特化したクラスターと実証フィールドの形成。

- オーラルフレイル改善プラットフォーム: 検知、検査、予測から予防、トレーニングを統合するシステムの構築。
- 中核機関連携: 産学が結集し、次世代の口腔健康エコシステムを推進。



まちかど保健室研究会



Goal: リビングラボ拠点機能としての物理的スペース形成と継続的なコミュニティエンゲージメント。

- 認知症cafe-PJ: 予防情報、医療連携、家族信託や保険のソリューション提供の場。
- 多様なテーマ展開: オーラルフレイルcafé、抗疲労café、睡眠café、栄養caféなど、身近な地域タッチポイントの創出。

医療のエコ活動研究会



Goal: ソーシャルマーケティングを通じた、地域社会の合意形成と共創支援。

- 同志社大学PJ連携: 「朝食PJ」や「人生会議PJ」を通じた市民への啓発活動。
- 社会との対話: リビングラボの運営や地域共創に対する理解を深めるためのソーシャルコミュニケーション手法の開発。

オープンイノベーション機能

アカデミア

国立研究機関／大学



国立研究開発法人
国立循環器病研究センター



国立研究開発法人
医薬基盤・健康・栄養研究所
National Institutes of
Biomedical Innovation, Health and Nutrition

① B to B 産学連携 ビジネスマッチング

産業界 スタートアップ含む
健康/医療/ライサインス/バイオ
研究開発や市場調査部門

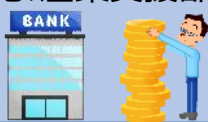


産業界 スタートアップ含む
健康/医療/ライサインス/バイオ
宣伝プロモーション部門



金融界

銀行、投資化、産業支援部門



行政
国



行政 (自治体)
大阪府/吹田市/摂津市



ソーシャルコミュニケーションと社会実証、実装

- ・健康や身体の悩みに関するメカニズムや解決策の情報
- ・研究や技術製品情報／展示や体験の機会の提供
- ・対話交流による地域の課題や悩みの理解
- ・市民協力による健康データや製品サービスの意見回収

しかし

- ・必要な対象者(テーマや健康状態)を集めることが出来ない
- ・実施する地域拠点、設備が無い、臨時で作る非効率
- ・同じ対象者に継続的にアプローチできない
- ・地域側からの課題や悩みの情報が入らない
- ・社会導入時の流通や小売り、サービス施設からの情報が無い

リビングラボ機能の形成へ

- 健康や医療、身体の悩み、地域や職場の課題の情報をオープンイノベーション側と対話
- 産学や地域側双方で企画できる悩みのテーマ(睡眠や認知、目や耳、足腰など)を決めた社会実装支援をプロジェクト化

③ B to C

市民

地域住民や来街者、子供達



健都ヘルスサポーター会員



従業員 学生



エリアマネジメント主体

- ・健康まちづくりの機能の形成へ
- ・リビングラボ機能の形成と活用

オープンイノベーション機能

アカデミア
国立研究機関／大学



国立研究開発法人
国立循環器病研究センター


NIBIOHN
国立研究開発法人
医薬基盤・健康・栄養研究所
National Institutes of
Biomedical Innovation, Health and Nutrition

① B to B 産学連携 ビジネスマッチング

産業界 スタートアップ含む
健康/医療/ライサインス/バイオ
研究開発や市場調査部門



産業界 スタートアップ含む
健康/医療/ライサインス/バイオ
宣伝プロモーション部門



金融界
銀行、投資化、産業支援部門




行政
国



行政 (自治体)
大阪府/吹田市/摂津市



② B to 地域B to

地域事業者 まちかど保健室機能含む
市民や来街者が訪れる店舗や施設



・必要な対象者(テーマや健康状態)を集めることが出来る

地域事業者
オフィスや工場、
学校など従業員や
生徒の健康経営を
考える事業所



病院クリニック
介護福祉施設
在宅医療介護

③ B to C

市民
地域住民や来街者、子供達




健都ヘルスサポーター会員

従業員 学生




仲間創り メンバー募集 ④ C to C

地域健康支援団体・サークル
患者会・ピアサポート・健康サークル仲間・中間支援・コミュニティビジネス
市民団体・自治会・マンション管理組合・IRイメージメント組織等



リビングラボ機能の形成へ

- 健康や医療、身体の悩み、地域や職場の課題の情報をオープンイノベーション側と対話
- 産学や地域側双方で企画できる悩みのテーマ(睡眠や認知、目や耳、足腰など)を決めた社会実装支援をプロジェクト化

リビングラボ機能の地域主体となる地域事業者と地域健康支援団体

オープンイノベーション機能

アカデミア

国立研究機関／大学



国立研究開発法人
国立循環器病研究センター



国立研究開発法人
医薬基盤・健康・栄養研究所
National Institutes of
Biomedical Innovation, Health and Nutrition



行政 国



行政 (自治体) 大阪府/吹田市/摂津市



リビングラボ機能の形成へ

- 健康や医療、身体の悩み、地域や職場の課題の情報をオープンイノベーション側と対話
- 産学や地域側双方で企画できる悩みのテーマ(睡眠や認知、目や耳、足腰など)を決めた社会実装支援をプロジェクト化

① B to B 産学連携 ビジネスマッチング

産業界

スタートアップ含む
健康/医療/ライセンシング/バイ
研究開発や市場調査部門



産業界

スタートアップ含む
健康/医療/ライセンシング/バイ
宣伝プロモーション部門



金融界

銀行、投資化、産業支援部門



② B to 地域B to

地域事業者

まちかど保健室機能含む
市民や来街者が訪れる店舗や施設



地域事業者

オフィスや工場、
学校など従業員や
生徒の健康経営を
考える事業所



病院クリニック
介護福祉施設
在宅医療介護

③ B to C

市民

地域住民や来街者、子供達



健都ヘルスサポーター会員

健都ヘルスサポーター
会員



従業員 学生



仲間創り
メンバー募集

④ C to C

エリマネ機能

健康まちづくりの機能
リビングラボ機能運営

地域健康支援団体・サークル

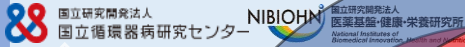
患者会・ピアサポート・健康サークル仲間・中間支援・コミュニティビジネス
市民団体・自治会・マンション管理組合・IRマネジメント組織等



オープンイノベーション機能

アカデミア

国立研究機関／大学



行政 国



行政（自治体） 大阪府/吹田市/摂津市



リビングラボ機能の形成へ

- 健康や医療、身体の悩み、地域や職場の課題の情報をオープンイノベーション側と対話
- 産学や地域側双方で企画できる悩みのテーマ(睡眠や認知、目や耳、足腰など)を決めた社会実装支援をプロジェクト化

① B to B 産学連携 ビジネスマッチング

産業界 スタートアップ含む
健康/医療/ライセンシング/バイ
研究開発や市場調査部門



② B to 地域 B to

地域事業者 まちかど保健室機能含む
市民や来街者が訪れる店舗や施設



③ B to C

市民
地域住民や来街者、子供達



現実界での社会実装
課題やニーズに対応
した方法と共創主体

産業界 スタートアップ含む
健康/医療/ライセンシング/バイ
宣伝プロモーション部門



地域事業者
オフィスや工場、
学校など従業員や
生徒の健康経営を
考える事業所



従業員 学生



各種支援
情報収集
情報提供
商品販売

金融界
銀行、投資化、産業支援部門



エリマネ機能

健康まちづくりの機能
リビングラボ機能運営



地域健康支援団体・サークル

患者会・ピアサポート・健康サークル仲間・中間支援・コミュニティビジネス
市民団体・自治会・マンション管理組合・エリマネマネジメント組織等

仲間創り
メンバー募集

④ C to C



健都ヘルスサポーター会員

3大学経営統合とは、帯広畜産大、北見工業大学、小樽商科大学の道内の国立大学3校が2022年4月に経営統合

学生数は1200人弱と小規模。総面積1,889,624㎡(東京ドーム41個分)という緑に包まれたキャンパスが広がり、馬や牛、羊など様々な動物が飼育されている。

上川大雪酒造は、三重県から酒造免許を上川町に移転するという前例のない形で、2017年に北海道12番目の日本酒蔵として新設



帯広畜産大学と上川大雪酒造株式会社、十勝緑丘株式会社が令和元年7月に締結した協定に基づき貸与した敷地(約3,700㎡)の敷地の中に、仕込みをする製造棟や大学の講義にも活用できるセミナー棟を建設



東京農業大学など醸造を学べる学科が設立されている大学はあるが、奥田学長は「私どもが調べた限り、日本酒蔵のある大学は日本初です。大学で育てた米や、培養した酵母を酒蔵に渡し、醸造してもらうことで大学ブランドの日本酒を造るという例はあるが、大学内に蔵を設置して日本酒を造ることは初めての試みと認識している」。

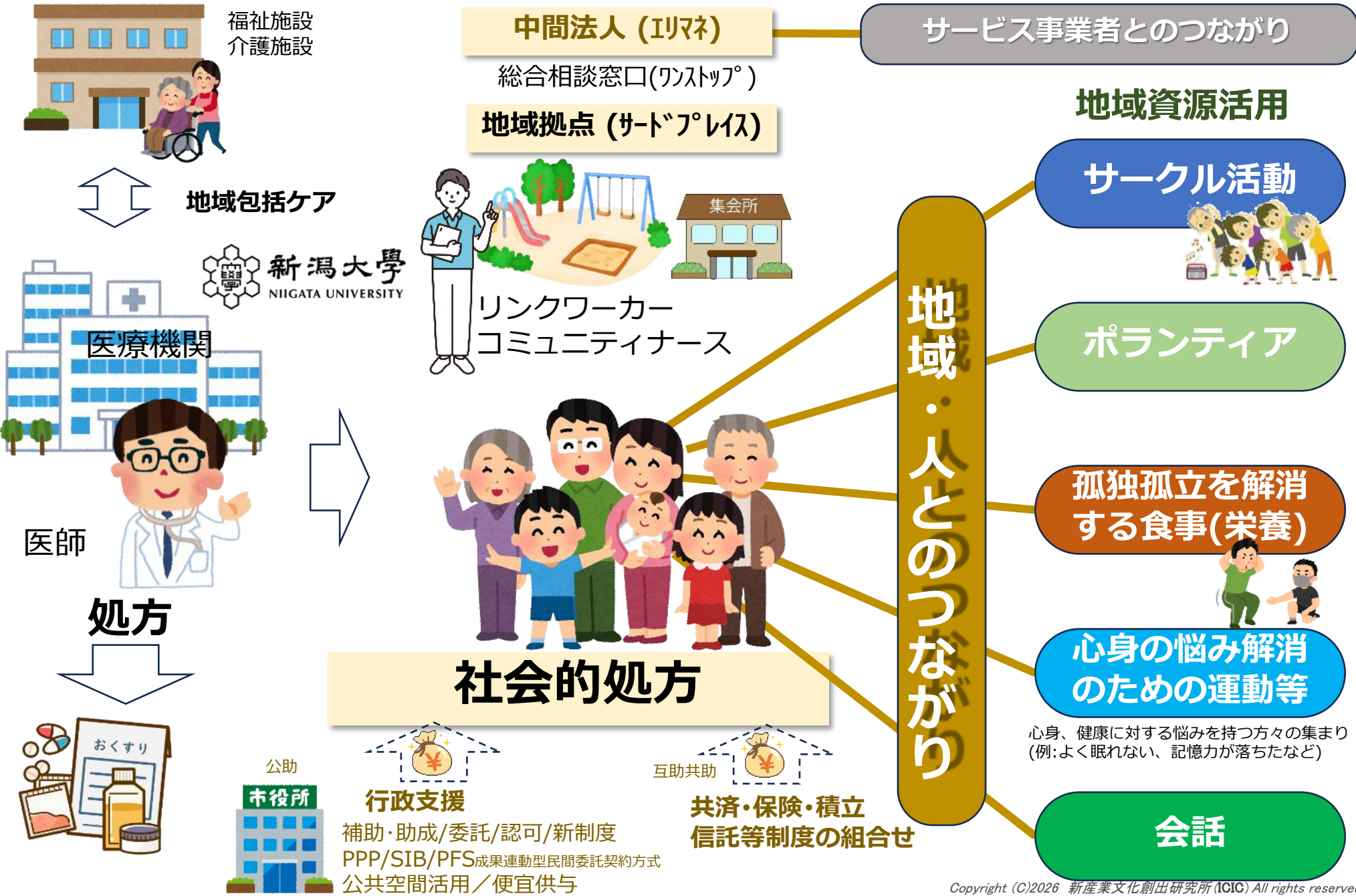
キャンパス内に日本酒蔵を設置するメリットは、「食の重要な要素のひとつである『発酵・醸造』に関わる現場レベルの実践的な教育研究が可能になること」。

「豊富な農畜産資源を有する十勝地域を中心とした、北海道発の清酒酵母の蓄積が可能になる。将来的には『酵母ライブラリー』を学内に設置し、中長期的な試験や研究が可能になり、地域内外の産業、学术界へのさらなる貢献も期待でる」



キャンパス内の酒蔵建設予定地の面積は約3,700㎡





「藤田まちかど保健室」リビングラボ



人材教育と
地域共生社会における多機能型地域拠点の活用に関する調査研究



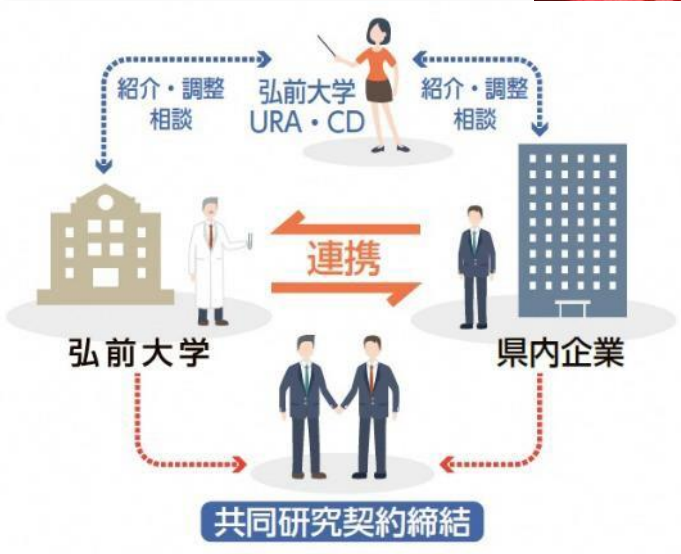




弘前大学研究・イノベーション推進機構
Hirosaki University Institute for the Promotion of Research and Innovation



画像 :青森農業協同組合ホームページ



出典 :弘前大学ホームページ

R2期	合同会社テンコーファーム	五所川原産「赤きく芋」の機能性の立証と高付加価値加工食品の開発	1,000千円
R2期	株式会社Airgead	チョコレートの工程毎における香り成分の分析と新商品開発	1,000千円
R3期	日本サーモンファーム株式会社	養殖魚の魚体測定（体重分布測定）システムの研究開発	900千円
R3期	東北化学薬品株式会社	Oligoribonucleotide (ORN) interference-PCR (ORNi-PCR) 法を用いたりんご黒星病菌における防除剤耐性変異株の高速検出法の開発	900千円
R3期	株式会社日本農業	りんご高密度植わい化栽培時に作用する力学的負荷の評価	900千円
R3期	ビタミンC60バイオリサーチ株式会社	ガマズミ残渣を用いた化粧品原料開発	900千円
R3期	社会福祉法人愛成会	保育士業務の負担を軽減する観察記録及び管理用アプリ開発	700千円
R3期	弘南バス株式会社	IoTバスロケーションシステムとビッグデータ解析による利用者の利便性向上	700千円

「食と環境」をテーマにしたこれからの教育と社会のあり方についての研究と実践のための連携協定を締結

東京学芸大学と辻調理師専門学校は2022年3月31日に連携協定を締結。連携協定のもと、東京学芸大学教育インキュベーションセンターと辻調理師専門学校産学連携教育推進室が中心となって「食と環境」をテーマにしたこれからの教育と社会のあり方についての多様な研究と実践を展開する。

キャンパス内に辻調理師専門学校の新たな教育研究拠点を誘致

国立の教育者養成大学のキャンパスを有効活用し、専門学校をキャンパス内に誘致するとともに実社会との連携を見据えて教育研究を広げる試みは全国初。教員と教育支援者の養成を目的とする我が国の基幹大学である東京学芸大学は、教育の観点から未来を切り拓くために、先導的な試みを進める。

今年度の研究・実践内容

1. 食と環境に関する教育研究における連携
2. 高等教育におけるSTEAM教育についての研究での連携
3. 地域との協働における連携



Gakugei 東京学芸大学
Tokyo Gakugei University



オーナーの都合により2013年10月26日で活動を終了

<https://lib-arts.hc.keio.ac.jp/exchange/cooperation/mita.php>

めざすもの

慶應義塾大学、とくに三田キャンパスは、少なくともここ数十年、地域社会と非常に限られた関係しか結んでできませんでした。「学生街」らしい店や雰囲気はほとんどなくなり、学生たちは授業が終わると、地域を素通りして駅に向かう。当然、地元の店主たちは最大の顧客を失い、危機感を募らせます。

一方、キャンパス内においても、異なる学部 of 学生同士、あるいは外国人留学生と日本人学生、一般学生と通信教育部の学生、学生と教職員などが、自由に出入りし交歓し創造的な関係性を紡ぎだしていく、そうした場がほとんどありませんでした。そこで、「三田の家」のメンバーたちは、キャンパスを、内にそして外に“ひらく”ために、異文化・異分野間の文字通りのインターフェイスとなる場＝「インター・キャンパス」を構想し、それを実現すべく、三田商店街と協働しながら、二年余りをかけて「三田の家」のオープンにこぎつけました。

内容

そこでは、学生、教職員、留学生、地域の住民、店主、在勤者たちが、日頃の制度的バリア・肩書から半ば解放され、カジュアルに出会い語りあい学びあいながら、自分たちの手とアイデアで、この「家」を“作って”いきます。通常の教室の堅苦しさもなく、かといって居酒屋の放縦にも流れない、オリジナルな学び、そして実践の場が、「三田の家」です。

現在は七人の教員—岡原正幸（文学部）、坂倉杏介（グローバルセキュリティ研究所）、武山政直（経済学部）、手塚千鶴子（名誉教授）、塩原良和（法学部）、日向清人（外国語教育センター）、熊倉敬聡（理工学部）—が、「マスター」を務めます。各々、ある曜日を担当し、独自の場づくりを行います。

通常、あらゆる社会的な空間には、前もって決められた用途があり、その用途に応じて利用者はそこで自分の役割を演じます。

「店」では「店員」と「客」が、「教室」では「教員」と「学生」が、「家庭」では「親」と「子」が、その空間のハビトウスに従って役割を実現します。



「芝の家」は、港区と慶應義塾大学が共同で運営するコミュニティづくりの活動拠点、多世代が交流するみんなの居場所。

三田の家LLP（有限責任事業組合）は、「三田の家」を運営するために慶應義塾大学の教員有志（当時）が設立した組織です。2013年の「三田の家」クローズ後も、その理念を引き継ぎ、地域に根ざした新しい学びや対話の場づくりを行っている。

現在は、LLPの事務所であり、地域のコワーキングスペースでもある「芝三丁目場づくり研究所」を拠点に、港区芝地区総合支所の事業「地域をつなぐ！交流の場づくりプロジェクト」をはじめ、企業や行政からの委託業務を通じて、社会の「三田の家化」を目指して活動を続けている。

芝地区のコミュニティ活性化事業である「芝の家」、「ご近所ラボ新橋」の運営（地域をつなぐ！交流の場づくりプロジェクト／港区芝地区総合支所）を軸に、これまでの実践を通じて蓄積されたコミュニティづくりの実践的なノウハウやネットワークを活かして、年間1～2件の事業を行政や企業の方々と進めています。コミュニティデザインのプロジェクト、講座や対話の場づくり、コミュニティや居場所づくりの研究やコンサルティングなど受託する事業は様々です





https://shibanoharappa.tokyo/?page_id=123

建物の取り壊しにより駐車場となる予定だった北四国町会の真ん中に位置する土地。北四国町会と町内にある地域交流拠点「芝の家」による提案で、北四国町会に「まちの交流を豊かにする実験の場」として持ち主より貸与されることとなった。

「ご近所イノベーター養成講座」から産まれた。

ご近所イノベーション学校 KEIO×MINATO Gokinjo Innovation School



港区は区を5つの地区に分け（芝・麻布・赤坂・高輪・芝浦港南）、各支所が地域の特性を活かしたまちづくりを展開している。芝地区は商業地区と住宅が共存した地域であり、商店のにぎわいと住宅が調和したまちづくりを目標としている。各支所に港区から予算が与えられ、**芝地区では年間1300万円が芝の家とご近所ラボ新橋の運営資金**となっている。2008年に開設された芝の家は地域のまちづくり活動拠点として10年以上機能している。北四国町会と共に地域の居場所をつくり、それに関わる人がいろいろな人を呼び込んで芝のはらっぱを新たに作り出した。公共である港区の事業と芝の家、北四国町会、ボランティアがつくった芝のはらっぱが相互に協力してコミュニティができている





第三弾
実績

企業・自治体向け創業支援拠点ソリューション提供本格化

関東学院大学とタッグを組んだ coworking 施設

「AGORA KGU KANNAI」が好調



関東学院大学が、 coworking スペース運営や創業支援を行う株式会社 AGORA の coworking 施設立ち上げ・運営支援パッケージを導入して横浜・関内キャンパス内に新設した coworking & シェアオフィス

契約者数が前年比10倍へと伸長しているほか、地元横浜の民間企業との「地域連携」も強化し、これまでに累計8社との取り組みを達成

出典:株式会社 AGORA のニュースリリースより

オープンした coworking & シェアオフィス内のカフェレストランを運営する株式会社 キープ・ウィルダイニングが、関東学院大学や地域と連携したプレイベント「それは、横浜にある。」「ナイトキャンパスツアー@KGU」を開催。

出典:株式会社 キープ・ウィルダイニングのニュースリリースより

YOKOHAMA

地域連携イベント

出逢い、語らい、そして体感する。—

2023
8.21
START!

この街が、もっと好きになる。

それは、横浜にある。

YOKOHAMA

神奈川大学みなとみらいキャンパス

カフェ「NORTH LINK coffee & tea Kanagawa Univ.（ノースリンク コーヒー&ティー）」

レストラン「VOYAGE」

本格鮨レストラン「GRAND SUSHI」

KUPストア商品の販売（学校法人神奈川大学が100%出資する事業会社、KUパートナーズ）による大学開発商品）



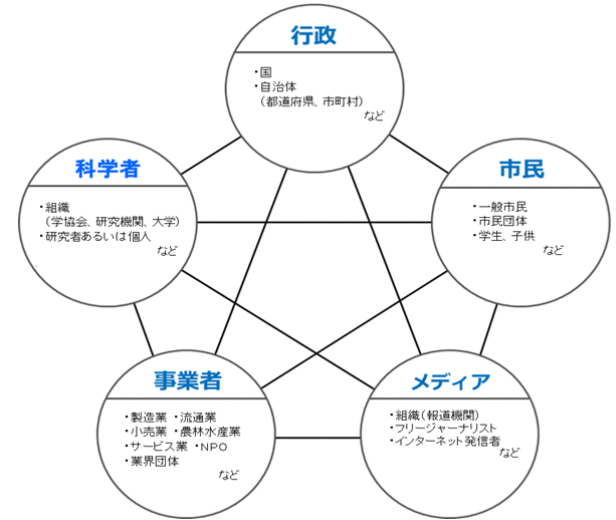
活用例



科学技術振興機構



サイエンスアゴラ



サイエンスアゴラ連携企画

科学技術と社会の未来を考える 対話・協働・共創活動

募集期間 令和8年 4.10(金) ~ 9.30(水)

※募集期間は予算状況により変更となる場合がございます。

科学と社会をつなぐ、
対話の場を
つくりませんか？



ご清聴ありがとうございました。

産学公民共創プラットフォーム形成に向けた、
共創主体の多様化と交流の加速化と
共創WGの事業化、事業の地域実装を実現しましょう



廣常啓一

廣常啓一

E-mail: hirotsune@icic.jp

株式会社新産業文化創出研究所(ICIC)

Institute of Creative Industries and Culture

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-12-2 ウチダビル3F

TEL:03-5297-8200, FAX:03-5297-8203